



社会環境報告書

Social & Environmental Report 2008



社会環境報告書

Social & Environmental Report 2008



編集方針

リンナイは、コミュニケーション活動の重要なツールとして2000年から「環境報告書」を発行してきました。2006年からは社会性報告を充実させ、「環境社会報告書」として、さらに2007年からは「社会環境報告書」として幅広い情報開示を行っています。「社会環境報告書2008」は、リンナイが考える社会的責任と相互信頼、そして実際の推進活動をより多くの方々にご理解いただくため、具体的な取り組みを報告しています。

報告書の記載範囲

本報告書はリンナイ(株)単独の活動を中心に掲載しています。
※データの一部には、主要国内グループ製造子会社7社、海外グループ会社6社の活動実績も含んでいます。

報告書の対象期間

2007年度(2007年4月1日～2008年3月31日)
※一部これ以前および直近のデータを含みます。

参考としたガイドライン

GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドラインVer3」
環境省「環境報告書ガイドライン(2007年度版)」
環境省「環境会計ガイドライン(2005年度版)」

環境報告のWeb掲載について

■ Web掲載マーク

本報告書の環境保全活動などで掲載できなかった具体的な事例や詳細データはWebに掲載しています。
右記のマークがついた情報についてはWebをご覧ください。

<http://www.rinnai.co.jp/>



■ 社会環境報告書Web版

冊子発行後約1～2ヶ月。

これまでの発行と次回の発行予定

2000年に初回の「環境報告書」を発行し、今回の「社会環境報告書」で9回目の発行になりました。
次回は2009年8月発行を予定しています。

■ 2000年度 2000年8月 24p	■ 2004年度 2004年8月 28p
■ 2001年度 2001年8月 24p	■ 2005年度 2005年8月 28p
■ 2002年度 2002年7月 24p	■ 2006年度 2006年9月 32p
■ 2003年度 2003年7月 24p	■ 2007年度 2007年9月 48p

お問い合わせ先

リンナイ株式会社

■ 社会報告全般に関して [総務部広報室]

愛知県名古屋市中川区福住町2番26号 〒454-0802 TEL:052-361-8211(代) FAX:052-361-8877

■ 環境報告全般に関して [環境部]

愛知県丹羽郡大口町秋田字西八丁 〒480-0132 TEL:0587-95-9560 FAX:0587-95-8169



CONTENTS

会社概要

ごあいさつ	03
リンナイのご案内	05
企業理念	07
コーポレート・ガバナンス	08
企業倫理への取り組み	09
経営方針	10
トピックス 安心・安全	
Siセンサーコンロ	11
ユニバーサルデザイン(ビルトインコンロ)	12

社会報告

お客様とのかかわり	14
お客様への情報提供	16
ガス機器を安全にご使用いただくために	16
株主・投資家とのかかわり	17
ビジネスパートナーとのかかわり	18
従業員とのかかわり	20
社会貢献活動	24

環境報告

環境報告Ⅰ

環境理念(方針)	27
環境基本活動	28
環境マネジメントシステム	29
環境行動計画と結果	31
環境会計	33

環境報告Ⅱ

E-プロダクト(商品)の取り組み	34
E-ファクトリー(工場)の取り組み	38
E-マインド(従業員)の取り組み	43

資料

環境活動のあゆみ	46
----------	----

■ 使用している用語について

【ステークホルダー】利害関係者。
お客様、株主・投資家、取引先、社会・
地域社会、社員など、企業と直接的・
間接的に関わりのある人々。

【コーポレート・ガバナンス】企業統治。
企業活動を律する枠組み。

【コンプライアンス】
法令や企業倫理の遵守。

ごあいさつ

総合熱エネルギー機器メーカーとして、 持続可能な社会、地球の実現に貢献します。

『品質こそ我が命』を胸に刻んで歩んだ一年

現在、企業にとってあらゆるステークホルダーの皆様との良好な関係を考え、活動することの重要性はますます高まっています。その結果、企業の社会的責任は、従来果たすべき法的責任以上に範囲が広がり、より積極的な情報開示やきめ細かな顧客対応、環境への深い配慮が求められるようになりました。

このような状況のもと、当社では昨年の小型湯沸器の事故発生に際しまして、ご利用者はもとよりあらゆるステークホルダーの皆様にご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げ、無償点検を即座に開始い

たしました。そして本年度も引き続き、あらゆる小型湯沸器を対象に無償点検を継続してまいります所存です。

この一年、改めて社員一同、当社の基本理念である『品質こそ我が命』を胸に刻み、ZD（ゼロディフェクト＝不良ゼロ）を確約できる企業を目指し歩んでまいりました。当社の製品は航空機部品と同様、決して不良が許されるものではなく、当社が目指す品質はZDでなければなりません。それゆえZDの実現こそ真の顧客第一の具現化であると信じ、邁進するものです。

品質保証本部の設置により 品質管理体制をさらに強化

このような状況下、消費生活用製品安全法の改正を機に、その対応およびお客様の要請に応えるため、昨年4月から品質に関して全社を横断的に管理する社長直轄の『品質保証本部』を設置いたしました。これにより社長出席のもと、毎月1回各本部長をはじめとするメンバーで全社品質会議を開催しております。品質に関わるあらゆる事案について積極的な改善、提案を行う他、現在実施しております無償点検につきましても点検内容をすべてデータ化し、分析結果に基づいて製造分野にフィードバックするシステムも整備しています。

さらに品質保証本部内に新設した『事故情報管理室』によって、製品事故情報の一元管理を図るとともに、社内外への速やかな情報開示を実施していきます。このような品質への取り組みがガス会社様から評価され、品質大会においてトップ表彰をいただくことができました。来年度には、長期使用製品安全点検制度も始まりますので、お客様のご要望に十分お応えできるよう体制作りを進めております。

また、商品の安心・安全につきましては、全社を挙げて取り組んでおりました調理油過熱防止装置の取り付けも終了



代表取締役会長

内藤 進

し、秋以降は全口センサー※¹が装着されたガスコンロだけが市場に出回ることとなります。今年4月から導入されたSiセンサーコンロ※²とともに、これからはより安全性の高い商品の開発を加速していきます。

(※1、※2の詳細は11頁を参照ください。)

世界市場における『エコジョーズ』の デファクトスタンダード化を宣言

一方、国連やサミット等で地球温暖化について議論され始めています。世界は持続可能な社会・地球の実現に向け個人、企業とも一層環境への取り組みを加速しなければなりません。当社の環境活動におきましては、1999年に環境基本活動として『3E戦略活動』を策定。『E-マインド』、『E-ファクトリー』、『E-プロダクト』をキーワードに、環境意識の高い従業員が、環境調和型工場で、環境配慮商品を作ることを目標に取り組んでまいりました。さらに、『E-オフィス』、『E-マーケティング(販売)』、『E-サービス』、『E-プロキュアメント(調達)』の4Eを加えた『7E活動』として展開しております。

とりわけ『E-プロダクト』につきましては、省エネ性能に対する社会的なニーズを受け、コンデンス給湯器への注目が高まっております。通称『エコジョーズ』は、給湯部の熱効率13%向上に成功し95%を達成、従来タイプよりはるかに高い省エネ性を実現しました。これを機に当社では、『エコジョーズ』のデファクトスタンダード化を宣言いたしました。京都議定書目標達成計画の中にも、『エコジョーズ』の普及促進が謳われ、現在、業界を挙げて取り組んでいます。環境配慮型商品に対するニーズは、日本のみならず世界共通のものとして受け止め、グローバル市場への積極的な投入を今後もさらに強化していくものです。

省エネ・創エネをテーマに 世界に発信するリンナイ・テクノロジー

世界的に企業の社会的責任がますます問われる今、ドイツのように環境産業が伸長し、高い技術力が持続可能な地

球の実現のために発揮されていることは注目に値します。当社もまた88年の歴史で培った技術をさらに進化させ、今こそ安心・安全、快適、便利、省エネ、環境すべてを満たすガス機器を中心とした『総合熱エネルギー機器メーカー』として、心新たに前進すべきであると考えます。

たとえばエナテック社およびインフィニア社と共同開発した、発電と温水が供給できるスターリング・エンジン技術を用いたコージェネレーション・システムも、今年からヨーロッパでのフィールドテスト用としての輸出を開始。リンナイオーストラリア製のソーラー温水システムも現地で好調な販売実績をあげております。このような海外企業とのコラボレーションや海外市場における好調な販売実績は、当社が1970年代から海外進出を果たし、早くから事業のグローバル化に注力してきた成果だと自負しております。そして今も当社の技術は世界の市場に果敢なチャレンジを続けており、今後も省エネ、創エネ開発を課題に持続可能な社会、持続可能な地球の実現に貢献してまいります。

私たちリンナイと従業員全員が、この美しい地球と地域社会のより良き住人として認められるよう、今後も社会環境活動を推進していきます。

2008年9月



代表取締役社長

内藤弘康

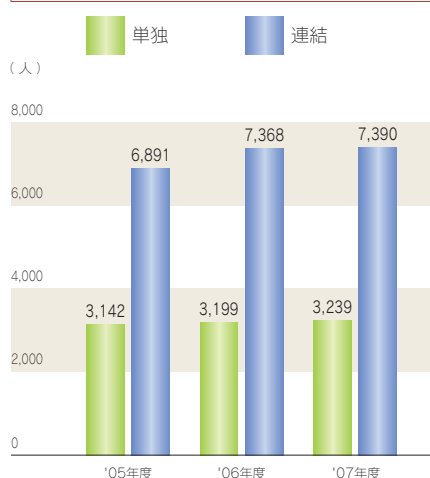
リンナイのご案内

会社概要

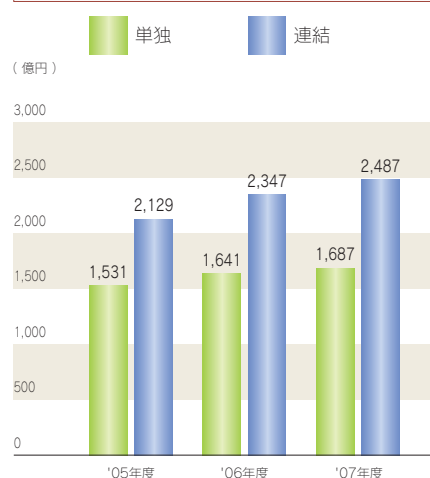
商 号	リンナイ株式会社
本 社	名古屋市市中川区福住町2番26号
創 業	1920年9月1日
設 立	1950年9月2日
代表取締役会長	内藤 進
代表取締役社長	内藤 弘康
資 本 金	64億5,974万円(2008年3月末現在)
主 要 事 業	熱エネルギー機器の製造・販売



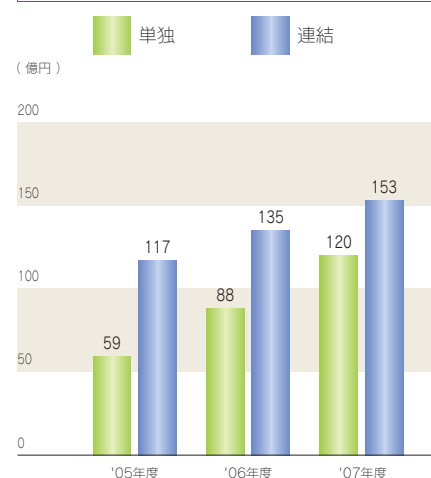
従業員の推移



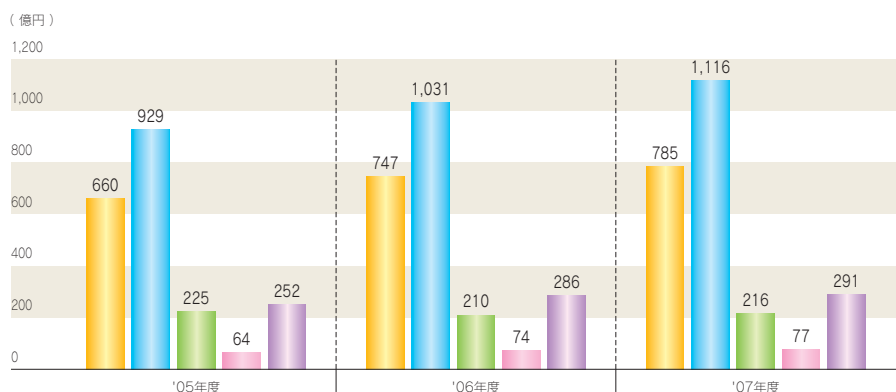
売上高の推移



経常利益の推移



品目別売上高の推移(連結)



厨房機器	テーブルコンロ、ビルトインコンロ、レンジ、食器洗い乾燥機、炊飯器 など
給湯機器	ふろがま、ふろ給湯器、給湯暖房機、湯沸器 など
空調機器	ファンヒーター、FF暖房機、赤外線ストーブ など
業務用機器	業務用焼物器、業務用レンジ、業務用炊飯器 など
その他	衣類乾燥機、赤外線バーナー など

リンナイの生産拠点



大口工場(技術センター) 愛知県丹羽郡



瀬戸工場 愛知県瀬戸市



愛知工場 愛知県名古屋市



旭工場 愛知県尾張旭市

グループの概要

当社グループは、当社および子会社44社（国内21社、海外23社）、ならびに関連会社3社の計48社で構成され、熱機器および関連部品の製造・販売事業と、これに付帯する事業を行っています。

国内グループ会社

● 主な国内製造子会社



1 アール・ティ・エンジニアリング(株)
愛知県豊田市



2 リンナイ精機(株)
愛知県小牧市



3 ジャパンセラミックス(株)
岐阜県可児市



4 リンナイテクニカ(株)
静岡県掛川市



5 (株)柳澤製作所
大阪府門真市



6 アール・ビー・コントロールズ(株)
石川県金沢市



7 能登テック(株)
石川県鹿島郡



海外グループ会社

● 主な海外子会社・関連会社



1 リンナイアメリカ(株)



2 伯陶リンナイ機器(有)



3 リンナイUK(株)



4 リンナイタイ(株)



5 リンナイマレーシア(株)



6 リンナイインドネシア(株)



7 リンナイベトナム(株)



8 台湾林内工業股份有限公司



9 上海林内有限公司



10 リンナイコリア(株)



11 リンナイオーストラリア(株)



12 リンナイニュージーランド(株)

企業理念

リンナイにとって「社会的責任」とは、私たちが法令をはじめとする社会のルールを遵守し、社会の発展に努めると同時に、高い倫理観を持って責任ある行動をとることであると考えます。

それは、日常の事業活動におけるあらゆる場面で、最も優先されなくてはなりません。

私たちはこの考えを実現するため、従業員一人一人が日々の行動をリンナイ精神に照らし合わせながら事業活動を進めています。

リンナイ精神を表わすものとしては、長年培われてきた社は『和・氣・眞』をその精神的支柱とし、さらに『リンナイ憲章』『倫理規程』『リンナイ行動規範』をより具体的な行動の指針として制定しています。



社 是

和 人間性豊かな人格をつくろう
氣 哲学を持って志を立てよう
眞 基本を学び科学的に考へよう

リンナイ
企業使命観

リンナイは『熱』を通じて
『快適な暮らし』を社会に提供します。

リンナイ憲章 七つの誓い

- 1 私達は、「品質こそ我らが命」を銘とし、顧客志向に徹します。
- 2 私達は、「安全性」「快適性」「利便性」を追求し、地球環境に配慮した商品を提供します。
- 3 私達は、「熱」と「くらし」の調和に関するすべてのノウハウを蓄積し、生活文化の向上に努めます。
- 4 私達は、国内外のリンナイグループの結束を固め、お互いの繁栄に努めます。
- 5 私達は、所属する社会の繁栄を願い、地域社会の一員として信頼を築きます。
- 6 私達は、和・氣・眞で率先実行し、会社の繁栄を通じ、自らの成長に努めます。
- 7 私達は、良識ある社会人として、遵法精神と高い倫理観に基づき行動します。

リンナイ行動規範(主要項目)

- | | | |
|---|--|---|
| 1 総則 | 6 地域社会への貢献 <ul style="list-style-type: none">● 地域社会との連携と協調● 海外現地法人の現地社会への貢献 | 10 安全・健康 <ul style="list-style-type: none">● 人の安全を最優先とする事業活動● 働き易い労働環境の確保 |
| 2 適用範囲 | | |
| 3 法令等の遵守 <ul style="list-style-type: none">● 関係法令及び社内諸規程の遵守● 社会的良識のある行動 | 7 株主・投資家との関係 <ul style="list-style-type: none">● 企業情報の開示● 企業情報管理の徹底● インサイダー取引の禁止 | 11 人権・人格の尊重 <ul style="list-style-type: none">● お互いの人権、人格、個性の尊重● プライバシー保護と個人情報管理● 差別的行為、セクハラ等の禁止 |
| 4 製品・サービスの安全性 <ul style="list-style-type: none">● 品質方針の徹底● 表示等における正確な情報提供● 問題発生時の迅速な対応 | 8 取引先との関係 <ul style="list-style-type: none">● 独占禁止法の遵守● 談合の禁止● 購買先との関係● 取引先からの接待、贈答の授受 | 12 会社財産の保護 <ul style="list-style-type: none">● 会社財産の適正な管理● 知的財産権の保護● 会社の機密情報の取扱 |
| 5 環境保全 <ul style="list-style-type: none">● 地球環境保全への寄与● 環境活動の推進と情報開示 | 9 政治・行政との関係 <ul style="list-style-type: none">● 贈賄、利益供与の禁止● 国家公務員倫理法等の遵守 | 13 反社会的勢力への対処 <ul style="list-style-type: none">● 反社会的勢力に対する姿勢● 総会屋等への利益供与の禁止● 民事介入暴力への対処 |

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスは、競争力強化と継続的な企業価値向上の観点から経営上の重要課題と捉えています。取締役会や監査役会等の機能強化を図り、さまざまなステークホルダーの方々に迅速かつ正確な情報開示に努めるとともに、幅広い情報を開示することで透明性の高い経営を目指しています。

経営を監視・監督する 監査体制

監査役は4名で構成されており、うち2名が社外監査役です。監査役は、取締役会や重要な会議に出席し、取締役の職務執行状況をはじめ、内部統制システムの整備状況や職務執行状況全般について監査しています。
これに加え、外部会計監査人が会計監査を実施し、会計に関する内部統制の適法性について、第三者の立場から検証しています。

取締役会

取締役会は、当社の経営に関わる重要な事項の意思決定と取締役の職務執行の監督を行っており、取締役7名で構成され、原則毎月1回開催しています。社長以下の取締役の一部が執行役員を兼務しており、取締役会の決議内容を担当部門の管理責任者に伝え業務執行を行っています。また、3ヶ月毎の全体経営会議および個別経営会議で経営状況の確認と課題事項の共有化を図っています。

内部統制システムに関する 基本的な考え方

経営体制を強化し社会的責任を遂行するために、

- ① 事業運営の安定化と効率化
- ② 財務報告の信頼性の確保
- ③ 事業経営に関わる法規制と内部規程の遵守

を内部統制の目的と考え、リスクマネジメント・コンプライアンス・内部監査などをその手段とした内部統制システムを整備しています。
(平成18年4月に内部統制室を設置しました。)

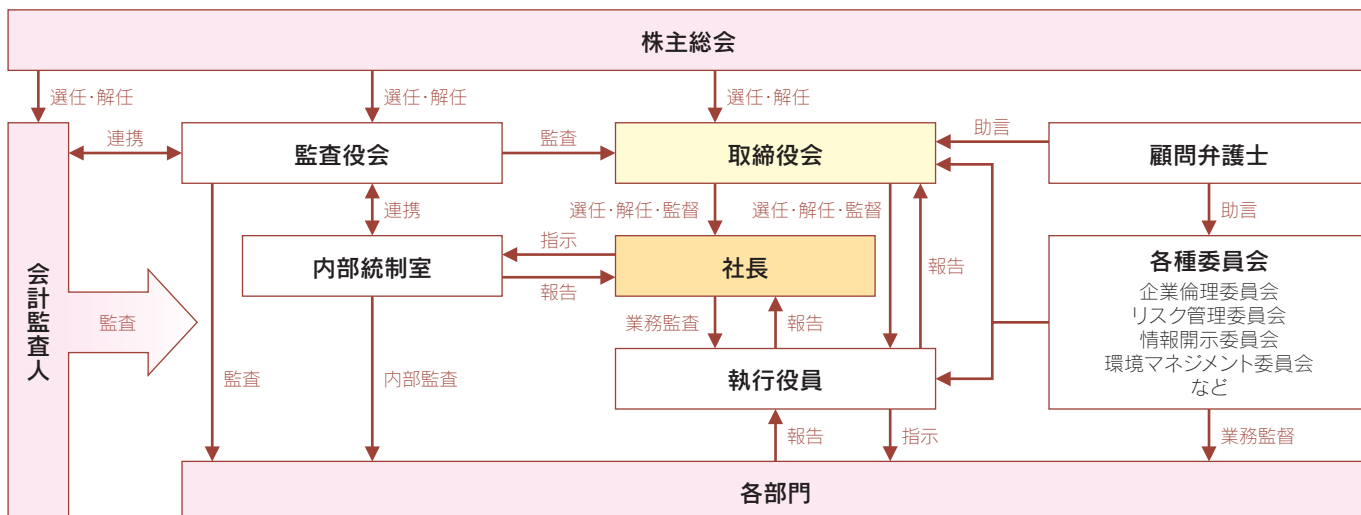
情報の開示

子会社に関する情報を含む社内重要情報の適時開示のための体制および手続きを社内規程に定めています。各情報については、情報開示委員会により適時開示の判定を行っています。

個人情報の保護

お客様の情報をはじめとする個人情報は、2005年4月に施行された個人情報保護法と社内規程に基づき、適正に管理・運用しその保護に努めています。
本社に個人情報保護管理責任者を置き、さらに国内グループ会社を含む各職場に個人情報保護委員を配置し、安全対策の推進および従業員に対し個人情報保護の重要性の周知・徹底を図っています。

■ コーポレート・ガバナンス体制



企業倫理への取り組み

全ての役員および従業員が、法令をはじめとする社会のルールや社内諸規程を遵守し、社会的良識に沿った健全な企業活動を実践し、企業としての社会的責任を果たすことを目的に企業倫理活動を推進しています。

コンプライアンスの徹底

2004年6月に「社是」「リンナイ企業使命観」「リンナイ憲章」「リンナイ行動規範」をまとめた「リンナイ倫理綱領」を作成し、全ての役員・従業員に配布し、企業人としての社会的責任の自覚を促すために浸透を図ってきました。

2007年7月には「リンナイ倫理綱領」を国内グループ会社へ拡大適用するため、新たに「リンナイグループ倫理綱領」を作成し、国内全グループ会社に配布するとともに、全従業員を対象に教育を行い浸透に努めています。

また、同年10月には海外グループ会社にも適用するため英語版で「Rinnai Group Code of Ethics」を作成し、配布するとともに周知に努めています。



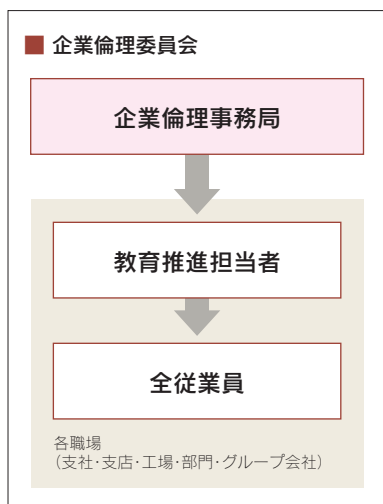
倫理綱領 [国内版]



倫理綱領 [海外版 (英語版)]

コンプライアンス教育体制

企業倫理に関する教育推進担当者を各職場に配置し、企業倫理委員会からの企画・指導事項などを、教育推進担当者を通じて各職場の従業員へ教育する体制をとっています。また、季節ごとに年4回発行する社内報「リンナイレイフ」に、毎回コンプライアンスのページを設け、従業員に周知を行うとともに、コンプライアンスを最優先する風土づくりに努めています。



社内報「リンナイレイフ」

コンプライアンス情報の発信

2007年7月に社内イントラネット上で、法改正情報、法律FAQコーナー、コンプライアンス教育資料およびコンプライアンス事例集(なるほど納得コンプライアンス)などのコンプライアンス情報のホームページを開設し、国内全グループ従業員に向けて情報発信しています。



コンプライアンス事例集



法改正情報

企業倫理相談窓口の設置

企業倫理相談窓口は、従業員が日常業務を通して法令や社内ルール、倫理、モラルなどの観点から疑問に思うことを相談したり、不正行為などの事実を確認したとき、すばやく情報を吸い上げ、問題を早期に解決するために、2005年11月に設置しました。また、2007年7月からは国内グループ会社にも利用枠を広げた体制を敷いています。



法律教育

法務部を中心に、営業本部をはじめ各本部ごとに、業務に関わり深い法律を中心とした教育を実施しています。



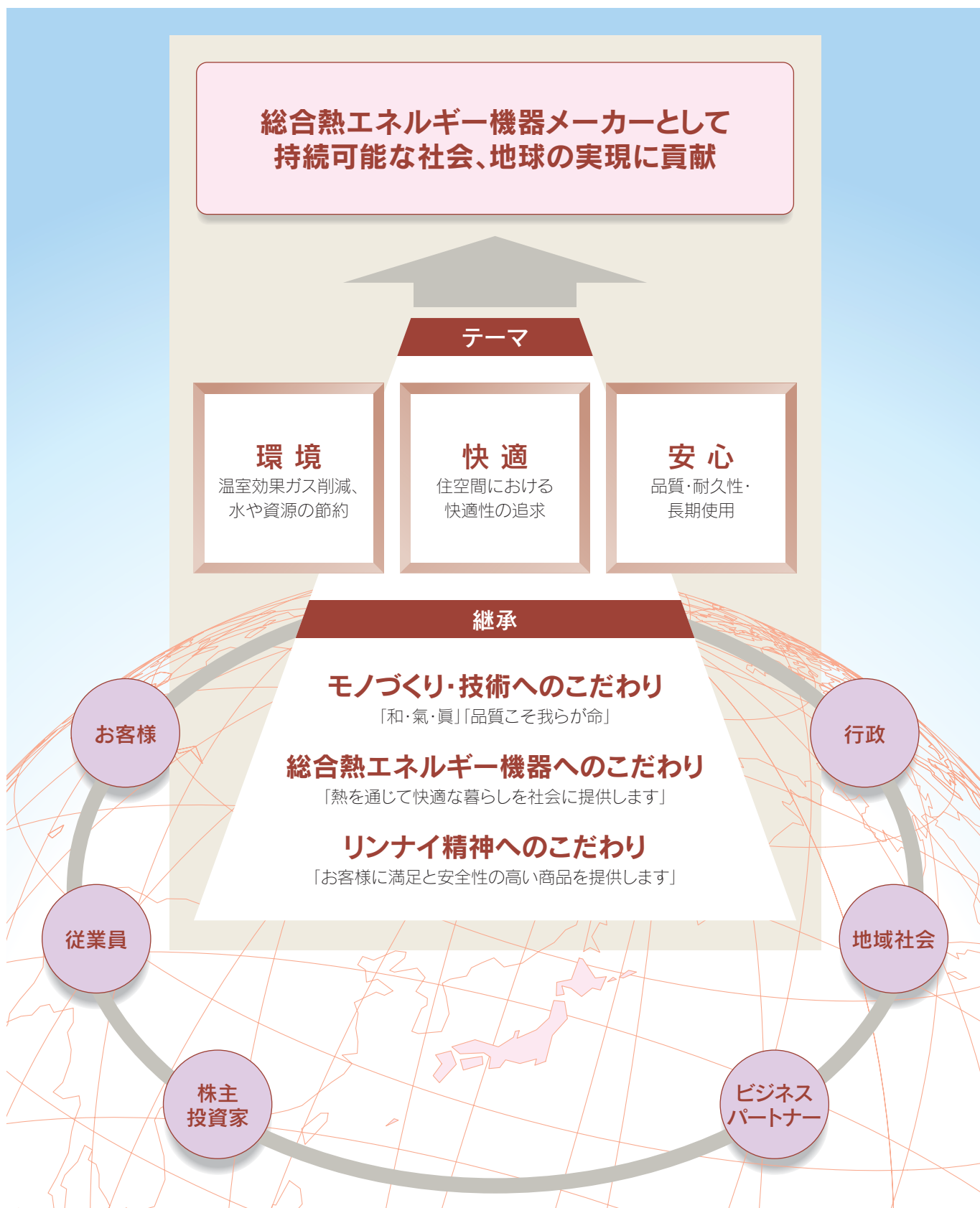
営業本部の教育風景

部 門	関係する主な法律
営 業 本 部	独占禁止法、景品表示法など
管 理 本 部	会社法、金融商品取引法、消費生活用製品安全法など
品 質 保 証 本 部 開 発 本 部	知的財産権、製造物責任法、消費生活用製品安全法など
生 産 本 部	製造物責任法、消費生活用製品安全法、男女雇用機会均等法など

経営方針

熱エネルギー機器を通じ、暮らしをより快適で、より環境に優しく、より安全で安心なものに、それが1920年の創業以来、リンナイが考え続ける「熱と暮らしのトータルコミュニケーション」のあり方です。

「モノづくり・技術」「総合熱エネルギー機器」「リンナイ精神」へのこだわりを持ち、「環境」「快適」「安心」をテーマにステークホルダーの皆様から信頼されるリンナイを目指し、持続可能な社会、持続可能な地球の実現に貢献していきたいと考えています。



Siセンサーコンロ

ガスコンロの全口センサー化

「天ぷら油火災を撲滅しよう」という目的から、2008年4月より、ガスコンロのすべてのバーナーに安心センサー〔調理油過熱防止装置（天ぷら過熱防止装置）と立ち消え安全装置〕を装備しました。

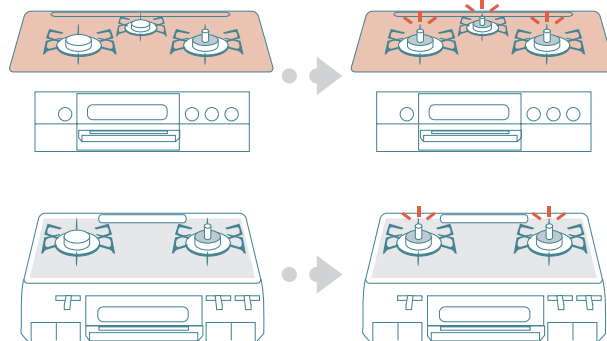
※Siセンサーコンロとは全口センサーコンロの業界統一ネーミングで、3つの「S」、安心（Safety）、便利（Support）、笑顔（Smile）を約束する賢い（intelligent）センサーを搭載したコンロという意味合です。

※2008年10月より、製造するガスコンロのすべてのバーナーに調理油過熱防止装置と立ち消え安全装置を装備することが法制化されます。

一口センサー

から

全口センサー



リンナイが定めるSiセンサーコンロの内容

■ リンナイの基準

国の基準・業界の基準を満たし、さらに「焦げ付き消火機能」を付加した5つの機能を標準機能とし、さらに商品により「鍋なし検知機能」「油温度調節機能」「自動炊飯機能」「湯沸かし機能」など、さまざまな安心機能、便利機能を付加しています。お客様のニーズに合ったさまざまなタイプのSiセンサーコンロをラインアップすることにより、快適なキッチンライフを提案します。

リンナイの Siセンサーコンロ



業界のSiセンサーコンロ

国の基準

- ① 調理油過熱防止装置【安全機能】
センサーが鍋底の温度を感知し、約250℃になると自動的に消火して油の発火を防ぎます。
- ② 立ち消え安全装置【安全機能】
煮こぼれや吹きこぼれ、強風などで火が消えた時、自動的にガスを止めます。

- ③ 消し忘れ消火機能【安全機能】
【コンロ・グリル（グリル付のみ）】
消し忘れても、点火後一定時間が経過した時点で自動消火します。
- ④ 早切れ防止装置【便利機能】
炒め物などの場合、鍋底が約250℃になっても消火せずに自動で温度調節を行い途中消火を防ぎます。

- ⑤ 焦げ付き消火機能【安全機能】
煮物調理時に、焦げ付きを検知すると初期段階において自動消火します。

+

- 鍋なし検知装置【安全機能】
- 油温度調節機能【便利機能】
- 自動炊飯機能【便利機能】
- 湯沸かし機能【便利機能】



■ 鍋なし検知機能

鍋がないと点火せず、調理中に鍋を外すと小火になり着火を防ぎます。

■ 自動炊飯機能

スイッチひとつでスピーディに炊飯できます。

■ 油温度調節機能

強火・弱火を繰り返し、つねに油の設定温度をキープします。

■ 湯沸かし機能

お湯が沸くと音で知らせ、自動消火します。

ユニバーサルデザイン ビルトインコンロ

DELICIA

Udea

DELICIA Udea(ユーディア)：だれもが使いやすいコンロであることをコンセプトに開発したこの商品は、すべての人に優しさをお届けするという気持ちを込めて、You(英語:あなた)とDear(英語:親愛な)の造語から名づけています。



RHS21W4D8VSL

主な配慮事項

- 1** 大き目の操作ボタンや表示ランプを天面に設けています。



- 4** 音声でお料理の操作手順や状況をお知らせします。また、お料理終了後は、コンロに触れても安全な温度になるまで、やけど注意ランプが点灯しています。



やけど注意ランプ

- 2** 火力やコンロの操作状況が分かりやすく操作も楽な姿勢で行えます。背丈に関係なく使いやすいように、操作部は傾斜状にしています。



10度の傾斜

- 3** 機能で色分けしたボタンや大きな文字など、一目で分かるデザインにしています。



- 5** ごとくは指先で簡単に取り外しでき、取り付けも方向が一目で分かる形状にしています。



ユニバーサルデザイン [Universal Design・UD]

文化や言語の違い、年齢や心身の能力を問わず、「できるだけ誰にでも使いやすい」という考えに基づいた施設・製品・情報の設計(デザイン)のことをいいます。



社会報告

Social &
Environmental
Report 2008

お客様とのかかわり[安心・安全・快適]

昨年の2月に当社製品(小型湯沸器)において事故が発生し、お客様に多大なご心配とご迷惑をおかけしました。お客様からの品質に対する要求にお応えすべく、品質管理体制を強化し適切な品質情報を提供するとともに、設計から製造そして販売・サービスの各段階で、さらなる品質の向上に努めています。

お客様第一主義

つねにお客様第一の考えに基づき、開発、調達、製造、販売、サービス、そして使用・廃棄に至るすべてのプロセスにおいて安心・安全を優先に改善活動を推進し、製品の品質と安全性の向上、サービスの質の向上などに取り組んでいます。

また、お客様とのコミュニケーションの充実を図り、相互の良好な信頼関係づくりに努めています。



品質評価

開発段階では、環境試験を始め、さまざまな厳しい評価試験を行い品質確保に努めています。



品質表彰

大阪ガス(株)主催の「平成19年度ガス機器品質大会」にて、「ガスコンロ部門」など5部門で第1位の表彰を受けました。



アフターサービス

リンナイだけの給湯器3年間保証

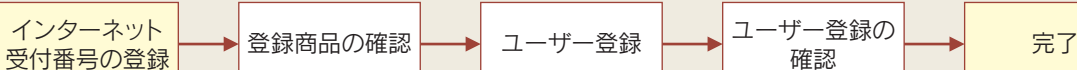
- ①長期保証で安心です。
- ②保証登録(はがき・インターネット)による機器設置情報を管理します。
- ③故障発生時などスピーディーな対応が可能です。

【注意事項】

- ※ 弊社ブランドで2007年4月以降生産の給湯器をご購入された方が対象です。
(3年間保証の同梱はがきをご確認願います)
- ※ 業務用給湯機器は対象外です。

Rinnai 3年間保証登録の申込み(ホームページでの申込み)

登録の流れ



※インターネット受付番号は、ご購入機器の3年間保証はがき(表)に記載されている番号を入力してください。

全国網のサービス体制・部品供給体制

修理受付

365日24時間

修理出動

365日(一部364日)

全国7ヶ所で受付：札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡

受付件数：電話受付160万件/年間

(修理受付65万件/年間)

フリーダイヤル修理受付365日、24時間の体制でお客様をお待たせいたしません！
最新システムによりリアルタイムなお客様対応状況をご案内します。

お客様センター **0120-054-321**

お客様とのかかわり[安心・安全・快適]

品質保証体制の強化

消費生活用製品安全法の改正への対応およびお客様の要請に応えるために、2007年4月に品質に関して全社を横断的に管理する社長直轄の品質保証本部内に事故情報管理室を設置しました。この事故情報管理室では、製品事故情報の収集とトップへの報告、消費生活用製品安全法に基づく経済産業省などへの報告(届出)など、事故情報の一元管理と社内外に速やかな情報開示を行い、品質保証体制の一層の強化を図るための活動を推進しています。

品質基本理念

品質こそ我々が命

品質方針

「お客様に満足と安全性の高い商品を提供する」

● 製品安全自主行動計画

Webで詳しく



当社は、従来から安全に対するお客様の信頼を確保することを経営上の最重要課題として取り組んできました。各種社内規程の見直しを進めるとともに、「製品安全自主行動計画」を策定し、2007年7月より当社Webサイトに公開しています。

● 全社品質会議の開催

2007年4月より、社長出席のもと、各本部長をメンバーとして品質に関わるあらゆる事案について、積極的な改善・提案を行う全社品質会議を毎月開催しています。

● 安心・安全のモノづくり

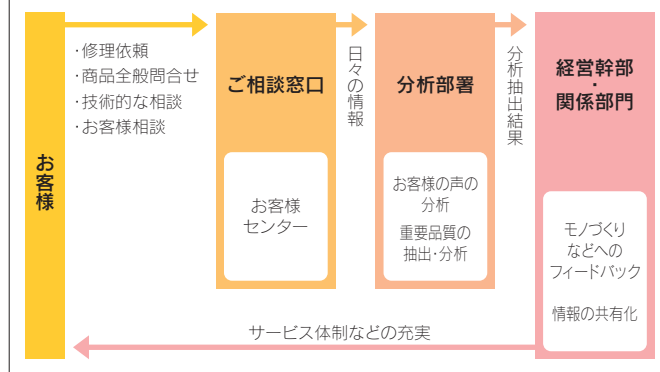
製品を開発・製造し、お客様にお届けするまでの各段階での製品の機能と信頼性を評価する、設計審査(デザインレビュー)を実施し、品質を確保しています。

重視する7つの品質要素

1. 機能・性能の良さ
2. 使いやすさ
3. 安全性の確保
4. 外観の良さ
5. 安定性の確保
6. 環境適合性
7. 法令・自主基準の遵守



■ お客様の声を商品・サービスに活用



● 品質管理講習会

新入社員や中堅社員、品質専門部署の社員を対象に、品質管理手法の習得を目的とした、さまざまな品質管理講習会を開催しています。



● 営業担当者に対する新製品講習会

重要な新製品情報は、その趣旨を営業担当者全員に周知・徹底するため、全国で講習会を開催しています。



● 小集団活動

リンナイグループとして、品質改善を主な目的とした小集団活動(QCサークル活動)を推進しています。活動成果の発表会として「全社QCサークル大会」および「グループ会社QCサークル大会」を毎年開催しています。



全社QCサークル大会



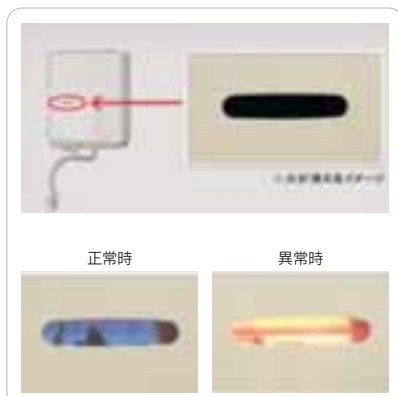
グループ会社QCサークル大会

お客様へのお願い

開放式小型湯沸器



特に10年以上使用している製品はぜひ点検を。



リンナイ開放式小型湯沸器



無償点検実施中
ご連絡をお待ちしています。

リンナイ株式会社 <http://www.rinnai.co.jp/>

0120-885-587

おかけ間違いのないようお願いします。

● 製品安全に関する情報の提供

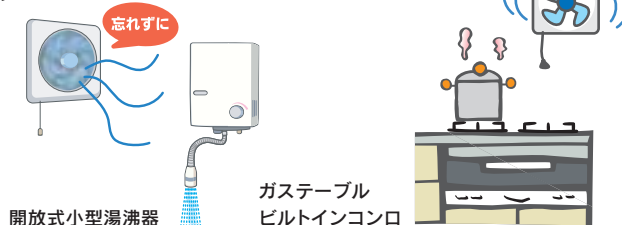
2007年7月に定めた「製品安全自主行動計画」に基づき、製品の安全にかかわる問題やその他の重大な品質問題が確認された場合には、お客さまを第一に考え、その情報を速やかに公表し、直ちに問題箇所の点検・修理・部品交換などの処置をとり、お客さまの不利益を最小限に止めるように努めています。

また、Webサイトに「製品に関する大切なお知らせ」や、ガス機器を安全にご使用いただくためのポイントなどをまとめた「製品を安全に、正しくお使いいただくために」などの情報を公開しています。

ガス機器を安全にご使用いただくために



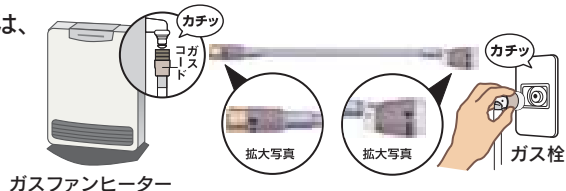
- 使用中は換気扇を回すか窓を開けるなどして、必ず換気を行ってください。



- 暖房使用中は1時間に1～2回、1分間程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして換気をしてください。



- ガス機器に接続する場合は、必ず各機器の指定品をお使いください。



- 入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確認してください。



- シャワーなど、お湯を使うときは必ず手でお湯の温度を確認してください。



ガス温水機器

株主・投資家とのかかわり

コミュニケーションを意識したIR活動

● グローバルな機関投資家・アナリストとのコミュニケーション

決算説明会をはじめ、経営説明会、工場見学会などを積極的に開催するとともに、機関投資家・アナリストとの個別取材やミーティングなどに対応しました。



● 個人投資家とのコミュニケーション

個人投資家の皆様とのコミュニケーションを大切に考えており、個人投資家向けフェアに参画し、業績や経営戦略についての説明・質疑応答を行いました。

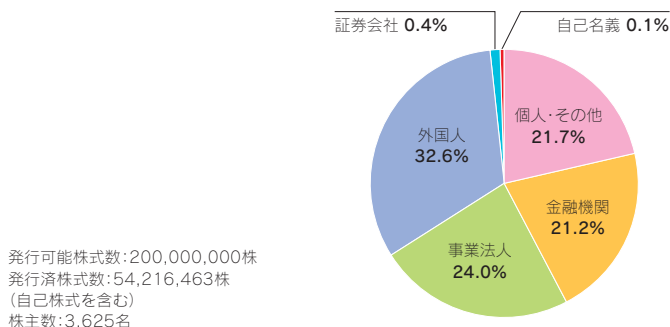


● 工場見学会の開催

事業活動へのご理解をより深めていただくために、東邦ガス（株）と合同で「IR説明会」を開催しました。工場見学と料理教室を組み合わせた説明会では、参加された方から「無駄のなさ、機械化のすごさ、安全性への配慮などに感心しました。」「工場見学をして安心しました。」などの感想をいただきました。



● 株主の構成（所有者別株式分布）



● 企業情報

Webで詳しく



株主・投資家の皆様からご理解を得るために、さまざまなIRツールを作成し、広報に努めています。プレスリリースによるマスコミを通じた発表や、株主の皆様向けの「報告書」の発行などの情報提供に取り組んでいます。また、当社ホームページ内に「IR情報」コーナーを設け、決算短信や株主通信などを掲載（英文も掲載）しています。問い合わせの多い内容に対しては「よくある質問」にまとめ、個人投資家の皆様に分かりやすい情報提供を行うように努めています。



株主の
皆様向け
「報告書」



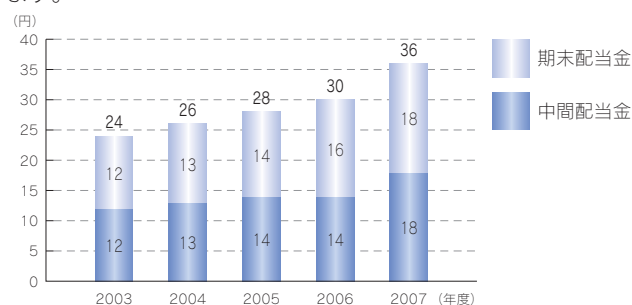
ホームページの「投資家向け情報」

● 株主への利益分配に関する基本方針

当社は、株主の皆様への安定した利益還元を維持することが経営の重要政策の一つであると考えています。基本方針に基づき、配当性向、株主資本利益率、財務状況などを総合的に勘案し、株主の皆様のご期待にお応えしていきたいと考えています。また、内部留保金につきましては、長期的な視野に立って、研究開発投資、設備投資および国内外の戦略的事業投資など企業価値の増大を図るための諸施策に有効活用してまいります。

● 1株当たりの配当金の推移

2007年度の配当金は、6年連続の増配となる1株36円となっています。



● 買収防衛策の導入

2008年6月の株主総会において、「当社株券などの大量買付行為への対応策（買収防衛策）」を導入しました。これは、当社の企業価値および株主の皆様の共同の利益が害されるような不適切な買収を防ぎ、株式の大量買付が行われる場合の手続きを明確にし、株主の皆様が適切な判断をするために必要かつ十分な情報と時間を確保するとともに、買付者との交渉の機会を確保することを目的としています。

ビジネスパートナーとのかかわり

開発・調達・生産・販売・サービスなどのすべての事業活動において、多くの方々との関わりがあります。このすべての方々と良好な関係を保ち、互いに連携・協力して、お客様に心より喜んでいただける商品とサービスを提供することが私共の使命です。

得意先・サービス会社とのかかわり

商品を販売していただく得意先・サービス会社の皆様と共存共栄を目指して、「新春リンナイ会」などのコミュニケーションの場を設定し、必要な商品情報や技術・サービス情報を紹介しています。こうした機会を通じて、当社商品への理解を深めていただくとともに、相互の情報交換により、安心・安全・快適で環境に優しい商品の販売・サービス活動に努めています。

● 2008年新春リンナイ会



名古屋会場

2008年度のテーマ

安全性・調理性、環境・省エネ性、快適な暮らし、

● コンテストの表彰

全国代理店向けに、2007年9～12月の期間「各商品分野別売上コンテスト」を開催しました。東京・大阪・福岡・札幌の「新春の会」の各会場では、その功績などに対し感謝の意を込め表彰を行いました。



東京会場

● リンナイ技能コンテスト

サービス会社との連携・協力の一環として、サービスメンテナンス技術向上を目的に、技術力での評価制度を導入した「リンナイ技能コンテスト」を年1回開催しています。また、サービスマン全員の方のGSS(ガス機器設置スペシャリスト)取得を奨励しています。



リンナイ技能コンテスト風景

● 「DELICIA」MSA展示会の開催

札幌支店では、2008年3月に札幌全日空ホテルで「DELICIA」のMSA展示会を開催し、多くの得意先などのご参加をいただきました。イベントは北海道全体で7月までに10回開催しています。



※MSA:「見て」「さわって」「味わって」の略です。

● 九州支社ショールームオープン

2008年1月、九州支社にショールームがオープンしました。ガス会社、設計事務所などへの新製品の案内や勉強会の他に、キッチンメーカーとショールームを相互に紹介し、製品情報などの提供の場として運営しています。



● ハイビジョン浴室テレビの展示

当社の子会社であるアール・ビー・コントロールズ(株)は、社内にハイビジョン浴室テレビ[YUGA]などを展示したショールームを開設しました。工場見学のお客様に製品情報を提供する場として運営しています。



● リンナイ・会員向けビジネスサポートサイト「サブリネット」

Webで詳しく

会員が「新製品やガス機器販売」に役立つ「販売支援サービス、お役立ちガイド、製品・技術情報、知識/ノウハウ集、よくあるご質問」などの情報を、当社ホームページ内に掲載しています。



ビジネスパートナーとのかかわり

取引先様とのかかわり

地球環境の保全と資源やエネルギーの有効利用は、企業の社会的責任であるという認識のもと、“環境に配慮したモノづくり”を進めるため、可能な限り環境負荷の小さい資材の調達を推進しています。

リンナイグループ基本購買方針

『国内外すべての企業に対して公平な機会を設け、公正な評価を行い、当社が求める条件に見合う優れた部材を調達する。』

購買活動指針

1. 公明正大な購買活動と最適なコストでの調達
2. 最適な品質の追求
品質基本理念 『品質こそ我が命』
3. 共存共栄、信頼関係の構築
4. 適切な納期の確保と安定供給
5. 地球環境保全
環境スローガン
『私達は英知を結集し、
人と地球にやさしい環境に配慮し、行動します。』
6. 独創的な技術の追求

● 新春互礼会・取引先方針説明会

法令を遵守し、公平な調達行為を行うとともに、取引先様との良好な関係維持に努めるという基本方針で進めています。「新春互礼会」や「取引先方針説明会」などの機会を通じ、当社の調達方針などを伝えています。



新春互礼会



取引先方針説明会

● 取引先様へのお願い

①法令と社会規範の遵守

事業活動を行っている各国、地域での諸法規・社会規範の遵守

②最適な品質とコストの確保

最良の商品を提供するための品質確保
市場競争の原理に基づいた適正な価格

③健全な事業経営の推進

経営状況などの情報開示

④環境への配慮

E-調達基準書に沿った部材供給

⑤部材の安定供給

⑥先行技術力

画期的で且つ独創的な技術

⑦秘密情報の保持

厳密な管理と事前了解のない公表は厳禁

● グリーン調達

環境に配慮した資材や副資材を調達するため、調達方針・基準などを明確にした「E-調達基準書」を制定し、「グリーン調達」を推進しています。

E-調達基準書



● 化学物質管理ランク指針

管理対象化学物質を選定し、有害性やリスク評価に基づく、禁止・削減・適正管理のランク付けを行った「化学物質管理ランク指針」を発行し、製品に含有する化学物質の使用制限などを明確にしています。

化学物質管理ランク指針



● グリーンサプライヤー認定制度

グリーン調達の一環として、環境負荷低減のための環境保全活動に積極的な取引先様をグリーンサプライヤーとして認定し、グリーンサプライヤーからの資材などの調達を優先する取り組みを推進しています。

※グリーンサプライヤーの基準：環境マネジメントシステムISO14001、エコステージ、KES、エコアクション21のいずれかの認証取得先。

※グリーンサプライヤー化目標：2012年までに100%化

● 取引先様支援活動

購買部主催で、現場改善力のアップを目的とした「現場リーダー研修会」を開催しています。

主な内容：当社で行っている現場ライン長研修をベースに
現場改善力の基礎を身につけていただく。

● 信貴山・千手院へ商売繁盛祈願

11月24日、取引先様31社と共に奈良県信貴山にある千手院を参拝しました。商売繁盛としても有名で、福德開運などを祈願しています。



● 取引先様と連携した災害への備え

取引先様の多くは、予想される東海地震の地震防災対策強化地域内に集中しています。取引先様との連携を図りながら、地震発生時における事業活動の継続と迅速な再開を図るため、事業継続計画（BCP）の整備を進めています。

● 購買相談窓口

パートナーである取引先様の皆さまとのコミュニケーションをより充実させるために本社購買部内に、資材取引に関する全般的な相談受付窓口を設置しています。

従業員とのかかわり[夢と感動を得られる職場づくり]

“従業員は最大の経営資源である”との認識のもと、「魅力ある人財で、リンナイグループを埋めつくそう!」をスローガンに、全社組織の「人事改革委員会」を通じて、夢とやる気の持てる職場づくりのために、従業員の満足度を高める制度改革や体系的な教育の場を通じて積極的な人材育成を進めています。

雇用と人事制度への取り組み

採用

各部門が求める人材像と力量を明確にし、公平かつ公正な採用を行っています。採用方法も「新卒者の定期一括採用」や「中部地区中心の採用」に限定することなく、全職種を対象とした通年採用、キャリア採用、全国採用を積極的に実施し、人材確保に努めています。



新卒採用「合同企業セミナー」

雇用の状況	2008年3月末日現在
● 従業員数	3,239名
● 平均年齢	36.1歳
● 平均勤続年数	14.3年
● 2007年度キャリア採用数	58名
● 2008年4月新卒者採用数	249名

再雇用制度

高齢者の知識・技術・経験を広範囲に活用するため、定年退職者再雇用制度を導入し、高度な専門知識・技術を要する業務や、一定の経験を要する業務、定型的な業務などに従事していただいています。契約は1年単位で行い、本人が希望するとともに体力的に就労可能な場合は63歳まで継続し雇用します。2007年度末時点で72人の再雇用者が各分野で活躍しています。また、本人の結婚・育児や家族の看護および転勤などにより、やむを得ず退職された元従業員に再び雇用の機会と経験・知識などを活用する場を提供するカムバック制度も2008年5月より導入しています。

社内公募制度

挑戦する意欲の高い人を発掘し、適材適所の配置により従業員の意欲と能力の発揮、組織の活性化などを目的とした社内公募制度を導入しています。

家庭と仕事の両立を支援

急速に進む少子高齢化の中で、従業員が働き続ける意思があるにも関わらず、介護や育児の必要から退職してしまうことがないように、家庭と仕事の両立を目指した育児や介護支援制度の拡充を進めています。

2007年度取得者	
● 育児休暇取得者	31名
● 介護休暇取得者	2名

教育・研修制度への取り組み

教育体系

- 階層別教育を縦軸に、職能別教育及び職場のOJT教育を横軸に置き、この縦横の総合的な教育・研修を通じて「各個人の成長」をサポートしています。
- 「品質」、「環境」、「コンプライアンス」などのカリキュラムとともに「リンナイ精神」に関する指導も行い、企業文化の継承に注力しています。

①階層別教育

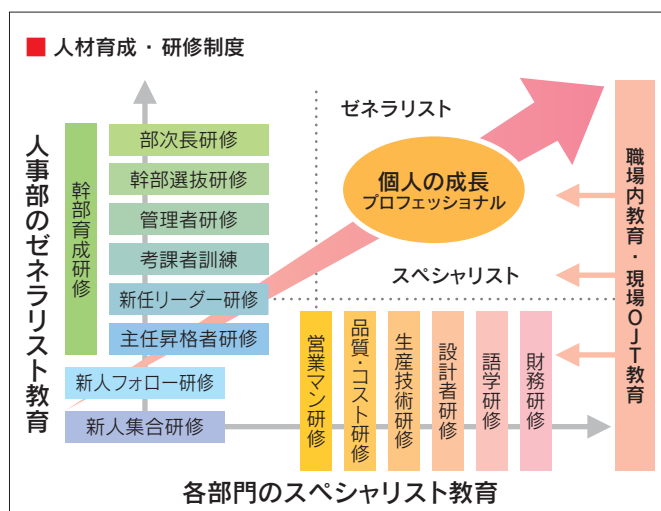
年齢、資格、役職段階毎に研修カリキュラムを定め、全社レベルでのゼネラリスト育成研修を行っています。

②職能別教育

専門分野毎に、研修カリキュラムを定め、各専門部門の教育担当者が主体となりスペシャリスト育成研修を行っています。

③職場内教育／OJT教育

各職場毎に職場教育担当者が主体となり、個人単位の計画に基づき教育を行い、スキルアップを図っています。



基本的人権と個人の尊厳の尊重

「倫理綱領」の中で、リンナイ行動規範として、基本的人権および個人の尊厳を尊重すること、差別的な取扱いを禁止することなどを定めており、「倫理教育」などを通じてその周知と徹底に努めています。



新入社員に対する「倫理綱領」教育

従業員とのかかわり[夢と感動を得られる職場づくり]

教育・研修制度への取り組み

● 階層別教育の充実

■ 管理者研修(管理者としての自覚と部下の育成)

経営参画を目指す幹部社員を対象に、労働法、目標管理、部下の育成、自己啓発などを課題としてその考え方や手法を学ぶ管理者研修を行っています。
(対象:管理職昇格者)



■ 昇格者研修(自己の特性を再認識しパワーアップ)

自己の「強み」と「弱み」を確認し、今後のキャリアアッププランを考えるとともに、プレゼン(パフォーマンス)、目標管理、計画立案／進捗管理の手法など「人間力」の強化を狙った昇格者研修を行っています。

■ 海外視察研修(グローバルな視野)

グローバルな視点での想像力の醸成と人格形成を目的として、海外企業の視察と各国の文化を体験する海外視察研修会に参加しています。



● 従業員組合との共同企画

■ ライフデザイン研修

人生の転換期を迎えた従業員やその家族に対して、これまでの人生を振り返り、今後の人生設計を行い、より充実した人生を送るためのアドバイスを行うことを目的としたライフデザイン研修を行っています。「ライフプラン設計」と「マネープラン設計」が主な内容です。(対象:40歳～50歳の従業員)



■ キャリアアップ研修

組織の中核戦力として部下の指導、上位者への補佐を期待されている中間管理職を対象に、レベルアップを目的としたキャリアアップ研修を行っています。



■ 新入社員コミュニケーション研修

2008年の春も、たくさんの新入社員が、私たちの仲間としてリンナイへ入ってきました。不安と緊張を抱きながら頑張っている新入社員に対し、リンナイの知識やチームワーク感覚などを身に付けることを目的とした「新入社員コミュニケーション研修」を行っています。



福利厚生への取り組み

● 選択型福利厚生メニュー

従業員および家族の価値観の多様化に対応するため、各種のメニューを充実し選択肢を拡大した「ライフサポート倶楽部」を導入しています。旅行・教育・健康ほかの生活関連メニューなど合計8,000を超えるサービスを準備しています。



リゾート・トラベル



スポーツ



自己啓発



健康・医療



レクリエーション



生活サービス



ライフプラン



住生活



育児・教育



介護



慶弔



無料相談

● 親睦会

従業員組合は、全国的な「和づくり」の親睦活動の一環として、従業員とその家族を含めた交流の機会をつくり、親睦を深めるための各種レクリエーション活動の企画や運営を支援しています。

■ 全国バーベキュー大会

札幌・東北・新潟・静岡・北陸・広島・高松・九州の8地区の会場で開催しました。



札幌地区



新潟地区

■ 関東スポーツフェスティバル



■ 関西サマーフェスティバル



安全衛生への取り組み

従業員が安心して安全で健康に働ける職場環境づくりのために、安全衛生委員会による活動を中心に、あらゆる災害や事故の発生を防止するための巡回指導、教育訓練及び資格取得の奨励などを行い、活力ある職場を目指して取り組んでいます。

● 安全衛生委員会

全社安全衛生委員会(4グループの安全衛生委員会で構成)により、活動方針の決定、災害防止対策の立案や災害状況などの確認などを行っています。安全衛生委員会(各事業所毎)では、各事業所の特性に合った安全で健康に働ける職場環境とするための活動を行っています。また、四半期毎に、各事業所を対象に、遵法性を主体としたきめ細かな安全監査を行い「災害0」から「危険0」に向けて取り組んでいます。

2008年度スローガン

「一人ひとりが職場の主役 安全先取り無災害」

● 安全衛生の基本の徹底

安全・快適に仕事を行うために、災害防止の基本などをまとめた安全衛生カード「職業人の基本と心構え」を従業員全員に配布し、周知・徹底を図っています。



● 健康診断

定期健康診断とともに35歳以上の従業員を対象に、特定検診および特定保健指導を行い、メタボリックシンドローム該当者・予備群を減少させる生活習慣改善をサポートしています。



● AEDの設置

従業員のかけがえのない命を守るため、AED(自動体外式心臓除動器)を主な事業所に設置し、万が一の緊急時に備え、従業員に対し取扱講習会などを開催し、使用方法などを周知しています。



※AED(自動体外式心臓除動器):心臓の心室細動の際に電気ショックを与え(電氣的助細動)、心臓の動きを戻すことを試みる医療機器。

● 過重労働の防止

過重労働を防止するためには、第一に長時間の時間外労働を避けることが重要です。従業員組合と共同して時間外労働の削減への取り組みを促進しています。

● メンタルヘルスケア(心の健康づくり)

メンタルヘルスケアを推進しています。医師、看護師、管理栄養士などが、従業員とその家族の方の健康・悩み事などに関する電話での相談や質問に、いつでも応えられる体制を整えています。

電話健康相談ポスター



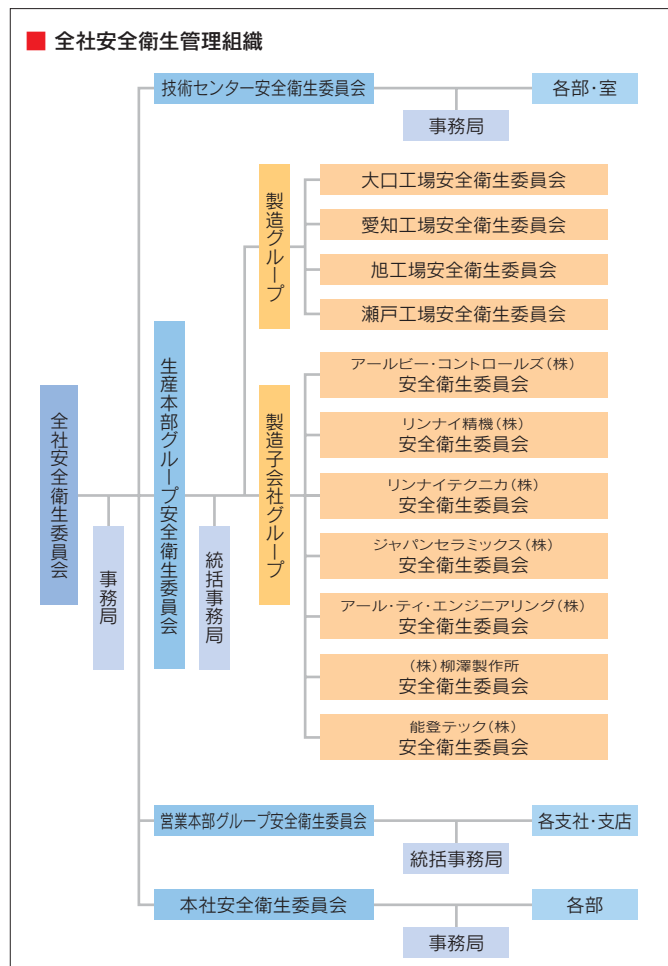
● 健康づくり

従業員組合が主催する「ウォーキングフェスティバル」や「スポーツフェスティバル」への支援を通して従業員の健康づくりを進めています。



ウォーキングフェスティバル
「東山公園一万歩コース」

■ 全社安全衛生管理組織



従業員とのかかわり

交通安全・防災

● 交通安全活動(街頭指導)

事業所周辺の交通安全を願って、街頭指導を実施しています。始業前の通勤者が多い時間帯に、マイカークラブ安全管理者が、事業所近くの交差点などで、交通安全を呼びかけています。



● 車両事故撲滅「安全運転セーフティ100」運動

従業員の安全運転意識の向上と、交通事故撲滅を目指し、秋の交通安全運動のスタートに合わせ、平成19年9月21日～12月29日(100日)の期間、国内営業拠点および工場において「セーフティ100日無事故・無違反運動」を実施しました。目標を達成した従業員に対しては、優良運転者として、全社安全運転推進委員会より表彰を行っています。また、全国の営業マンを対象に運転記録証明書を取得して、安全運転管理に活用しています。



● 社有車運転時の遵守事項の徹底

安全運転に心がけるための、社有車運転時の遵守事項などを明記した「安全運転マニュアル」を作り、周知・徹底を図っています。

主な遵守事項

- ① 子供、老人などが歩行している時は、徐行または一時停止して、その運行を妨げないこと。
- ② ハンドルは必ず両手で操作し、片手運転はしないこと。
- ③ 急発進、急加速、急停止及び急ハンドルなどの操作をしないこと。
- ④ シートベルトを必ず着用すること。
- ⑤ 制限速度を守ること。
- ⑥ 携帯電話は走行中に使用しないこと。

● 社有車両運転者認定制度

安全運転管理のために、所定の教育および運転技能チェックを実施し、認定された人のみが社有車両の運転が可能になる社有車両運転者制度を設けています。



新入社員への安全運転教育

● 安全パトロール

事業所内の事故を未然に防止するため、安全パトロールを行い危険箇所や不安全作業、整理整頓状況などのチェックをしています。なお、問題箇所に対しては早期に改善措置を実施し、事故のない職場を目指した活動を推進しています。



安全巡回

● 安全衛生教育

職場の安全性を高めるために、安全措置や仕組みの整備とあわせて、従業員への安全教育にも力を入れています。



新入社員に対するKYT教育(工場)

● 防災への取り組み

防災については、各事業所がそれぞれの事業内容と地域特性に応じた対策を講じるとともに、防災訓練を実施しています。



防災訓練(本社)



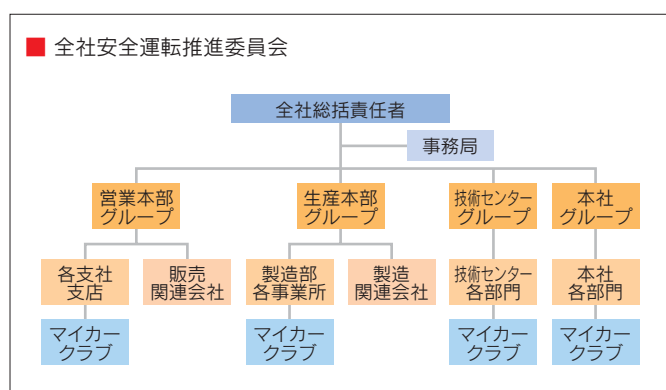
■ 国内グループ会社の避難・消火訓練



(株) 柳澤製作所



アール・ティ・エンジニアリング(株)



社会貢献活動

社会的責任として、国内外の文化やスポーツの振興と環境保全などのために、寄付活動、協賛活動、支援活動、地域との協調活動などの幅の広い取り組みを行っています。

● 寄付活動

社会福祉、地球環境保護、科学技術の振興、スポーツや種々の文化活動支援として寄付活動を行っています。

主な寄付

- 名古屋城本丸御殿復元事業
- 熱田神宮創祀千九百年記念造営事業
- 名古屋国際芸術文化交流財団
- (財)ファインセラミックスセンターナノ構造研究所
- 中部ハイテクセンター
- 愛知消防団広報車購入資金
- 世界平和研究所
- 日本室内楽アカデミー

主な協賛

- ジャパン・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニー・オーケストラ・コンサート公演
- 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 2007キャンパスベンチャーグランプリ中部
- 名古屋少年少女発明クラブ
- 名古屋国際音楽コンクール
- 名古屋音楽学校日本音楽コンクール受賞公演
- 第8回豊田国際ユースサッカー大会
- につぼんど真ん中祭り

● チャリティバザーへの協力

乳児院・養護施設・障害児(者)施設・老人ホームなどの社会福祉施設と、在宅の障害児(者)・寝たきりのお年寄り・交通遺児などへの援助を行うため、中部善意銀行が中心になって活動する「第13回愛のチャリティバザー」に、前年に引き続き協力しています。

● 「新潟県中越沖地震」被災地への支援

2007年7月に発生した新潟県中越沖地震による被災者の方々に対するお見舞いと復旧支援のため、義援金として経団連を通じて寄付を行いました。

● 事業所付近の清掃活動への参加

社会貢献の一環として、事業所近くの矢戸川の清掃活動に、大口工場のメンバーが参加しました。



■ 各種団体との連携

● 「環境デーなごや2007」への協賛

リンナイ本社では、名古屋市が主催する持続可能な社会の実現に向けた取り組み「環境デーなごや2007」に協賛・協力しています。



全市一斉
クリーンキャンペーン
(本社周辺の清掃)

● 環境パートナーシップ・CLUB

「環境行動の社会への浸透活動」「環境マインドに溢れた社会風土づくり活動」「環境行動に関する情報発信活動」「環境行動に関する国際交流活動」などを展開するために設立された環境啓発団体「環境パートナーシップ・CLUB」に参加し、各種の活動に参画・協力しています。

※2008年5月26日現在、300社が参加

■ 国内グループ会社

● 地域主催のクリーン作戦への参加

「小さな親切」運動静岡県本部が主催するクリーン作戦(美しく住み良い郷土づくりと、美しい心づくり)にリンナイテクニカ(株)のメンバーが参加しました。



● 献血活動

社会貢献の一環としてアール・ビー・コントロールズ(株)の従業員が献血を行いました。



社会貢献活動

海外グループ会社

● 青少年の育成〈オーストラリア〉

リンナイオーストラリア(株)では、学生向けの「ナショナル職務経験プログラム」に参加し、2週間以上におよぶ職務機会と教育機会を提供しています。



● 四川大地震への支援〈中国〉

上海林内(株)では、2008年5月に発生した四川大地震で被災された方々に対する復旧支援として、従業員からの義援金と、会社からの義援金を寄付しました。また、被災された方々の支援物資として、LPガスコンロを寄贈する活動にも参加しました。



● 国際NGO組織「ハビタット」の活動への参加〈アメリカ〉

リンナイアメリカ(株)では、100の国と地域に拠点を構え、アメリカに本部を持つ非営利組織「ハビタット」の、低収入家族へのボランティアとともに建築活動に取り組む「ホームビルダーブリッツ2008」に参加しました。この活動を通じて250台の瞬間式給湯器を寄贈しました。2006年からこの活動に参加しており、累計で1,000台の瞬間式給湯器の寄贈と、400棟以上の住宅の建設に貢献しています。



● 災難救護活動〈韓国〉

リンナイサービス(MS)(株)では、災害被災住民の支援活動として、リンナイ코리아(株)製品に対する無償修理と、ガス器具事故予防点検活動などの災害救護活動を行っています。



● 毎月1回のボランティア活動〈韓国〉

リンナイ코리아(株)では、毎月1回、リンナイ料理教室で作ったケーキを渡す「愛のケーキ伝達行事」、キムチを作って独居老人・少年家長に伝達する「愛のキムチリレー行事」、重症障害人福祉施設を訪問する「幸福の豊かな家」などのボランティア活動をしています。



愛のキムチリレー行事

● 「愛のボイラー教室」支援〈韓国〉

リンナイ코리아(株)では、失業者への技術教育支援や、生活保護対象者へ無償でボイラー交換を行う私設教育機関の奉仕活動の支援しています。



地球温暖化防止のための植林・緑化活動

1人、1日、1Kg CO₂削減 応援キャンペーン



CO₂排出量削減への取り組みとして、CO₂吸収量に優れているブルーベリーの苗木(2本1セット)を、ホーム緑化プロジェクトにご賛同いただいた方の中から抽選で3,000名様にプレゼントします。

(応募期間2008年2月1日～6月30日)

ブルー&グリーンプロジェクト

お客様にエコジョーズ1台をご購入していただくごとにベトナムに1本植樹する「ブルー&グリーンプロジェクト」を推進しています。エコジョーズ1台でアカシアの木13本が吸収するCO₂を削減することができます。



環境報告

Social &
Environmental
Report 2008

環境理念(方針)

1993年に「環境保全行動プラン」を策定し、全社的な環境活動をスタートしました。

1997年には「環境理念」を制定し、合わせて開発部門と大口工場がISO14001の認証を取得しました。

さらに2000年には「環境行動計画」を策定し、

国内主要製造グループ会社を含めた環境活動の強化と拡大展開を図ってきました。

環境基本理念

リンナイは、人と地球にやさしい優れた技術の追求と、人間性豊かな製品の開発・生産活動・販売・サービスなどを通じて、地球規模での環境保全に取り組み、社会に貢献することを基本理念とする。

環境スローガン

『 私達は英知を結集し、人と地球にやさしい環境に配慮し、行動します。 』

環境基本方針

1. 地球への環境負荷の少ない環境配慮型商品の提供

省資源・省エネ・リサイクル性などを追及した商品を開発し、循環型社会に貢献する環境負荷の少ない環境配慮型商品(E-プロダクト)を提供します。

2. 自然との共生を目指した環境調和型工場・オフィス

省エネ・廃棄物の削減などに努め、自然と共生する環境調和型工場(E-ファクトリー)・オフィス(E-オフィス)を目指します。

3. 販売・サービス活動などにおける環境への配慮

販売(E-マーケティング)・サービス(E-サービス)およびその他の事業活動全般において、環境負荷の低減活動に努めます。

4. 環境マネジメントシステムの構築と継続的改善

環境マネジメントシステムを構築し、適切な環境目的および目標の設定と管理による継続的な改善を図ります。

5. 法令などの規制の遵守と自主基準による取り組み

法律・条令・協定などの遵守はもとより、社会的要求に応える自主基準を定めてこれを守り、つねに管理レベルの向上を図ります。

6. 全従業員の環境意識を高め社会と協調した貢献活動

環境教育などを通じて全従業員の環境意識を高めると共に、地域社会などと一体となった環境活動を展開し、社会に貢献します。(E-マインド)

7. 従業員及び社会への情報公開

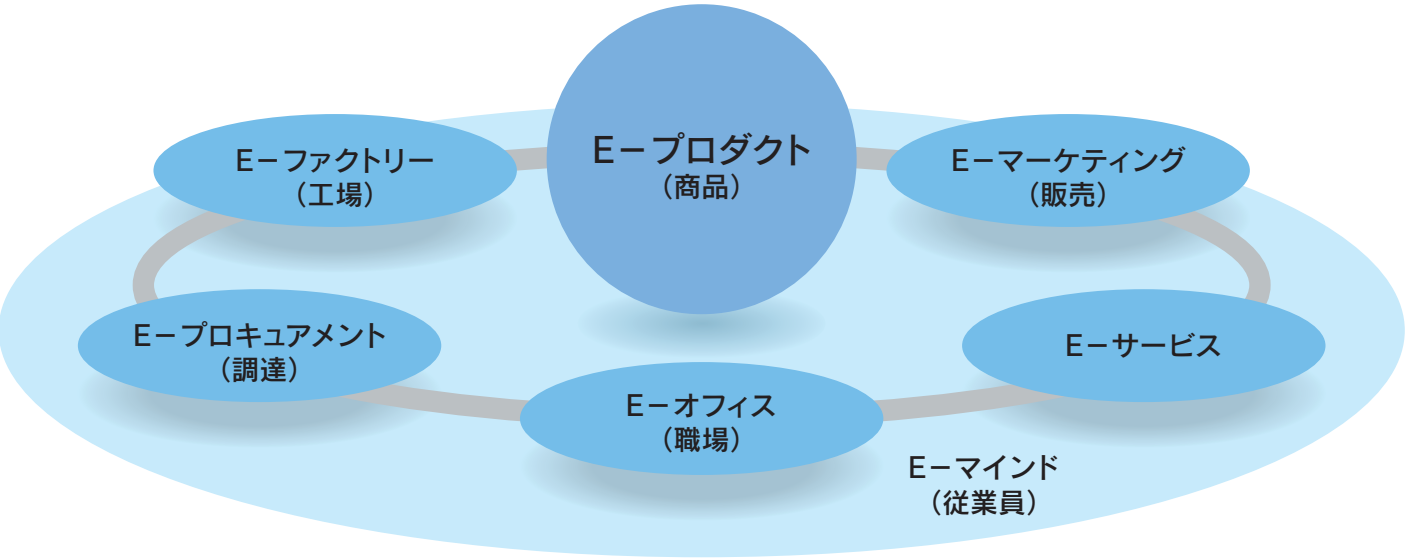
環境に関する方針などを社内外に開示し、従業員および社会とのコミュニケーションに努めます。

環境基本活動

『3E』戦略活動から『7E』戦略活動へ

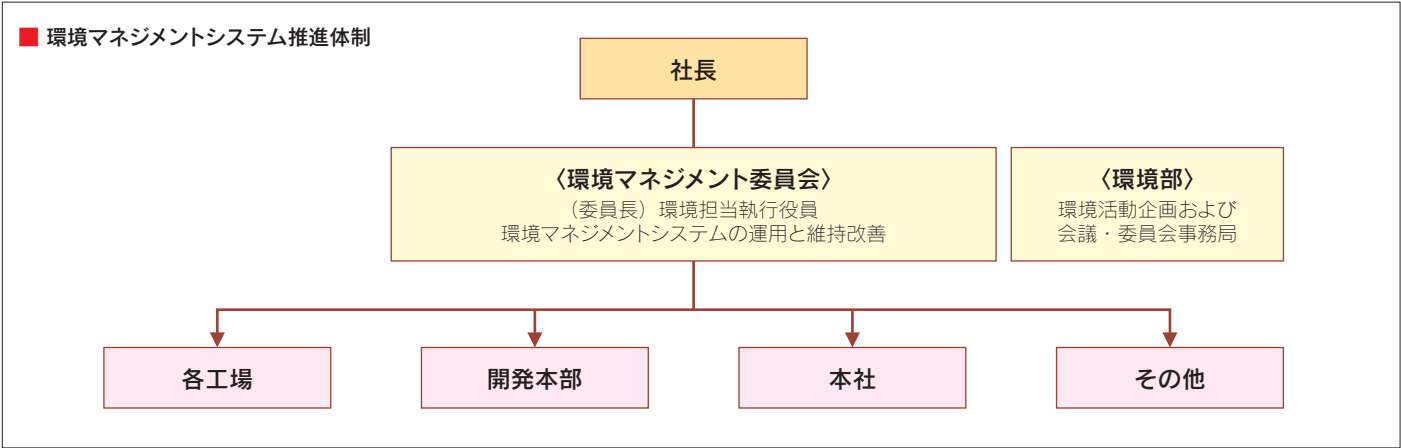
● 全事業域で全員参加の環境活動を推進

環境意識の高い従業員が環境調和型工場で環境配慮型商品を作り、自信を持ってお客様に商品を提供することを目標として、これまでモノづくりを行う「工場」、生産する「商品」、各職場で働く「従業員」の『3E』戦略活動を進めてきました。2008年4月より各関連部門が、各々のプロセス（開発、調達、生産、販売、使用、廃棄）で、きめ細かな活動を推進するため、原材料・部品などの「調達」、商品の「販売」、お客様がご使用になる商品の「サービス」、環境に配慮した「オフィス」活動の「4E」をプラスした『7E』戦略活動を開始しました。



7E	主な推進事項
1 E-Product (商品)	環境配慮型商品の開発
2 E-Procurement (調達)	グリーン調達の推進
3 E-Factory (工場)	環境負荷低減活動の推進
4 E-Marketing (販売)	環境配慮型商品販売の推進
5 E-Service	環境に配慮したサービス活動の推進
6 E-Office (職場)	環境に配慮したオフィス活動の推進
7 E-Mind (従業員)	環境教育／啓発活動の推進、環境情報の発信、社会貢献活動

● 環境活動組織



環境マネジメントシステム

国際規格ISO14001に基づく環境マネジメントシステムを構築し運用しています。

ISO14001の認証取得活動を通じ、全従業員の環境意識を高めると共に、環境に配慮した商品開発や生産活動を行い、環境パフォーマンスの向上を図っています。

リンナイグループで環境マネジメントシステムを運用しています。

リンナイグループ全体での国際規格ISO14001に基づく環境マネジメントシステムの運用を目標に、環境マネジメントシステムの認証取得活動を継続して進めています。現在、グループ会社も含めた国内製造部門での認証取得をほぼ完了し、国内未取得部門（営業など）および海外グループ会社での認証取得活動などを展開しています。



本社

● 環境マネジメントシステム国際規格「ISO14001」の認証取得状況

事業所名	認証取得年月
リンナイ	開発本部
	生産技術部
	大口工場
	瀬戸工場
	環境部
	愛知工場
	旭工場
	品質保証部

事業所名	認証取得年月
国内グループ会社	リンナイテクニカ(株)
	(株)柳澤製作所
	リンナイ精機(株)
	ジャパンセラミックス(株)
	アール・ティ・エンジニアリング(株)
	アール・ビー・コントロールズ(株)
	能登テック(株)
海外グループ会社	リンナイコリア(株)

環境マネジメント活動

● 環境マネジメント委員会

中長期計画および年度計画に従い、環境マネジメント委員会を通じて周知し、具体的な活動へと展開しています。また、必要に応じて計画の見直しを行い、目標の達成に努めています。



環境マネジメント委員会



環境定例会(工場)

● 環境リスクマネジメント

当社では、環境に関する法規制、条例や地域との協定書などを遵守することを基本としています。さらに、環境リスクをより低減するために、法律や条例よりも厳しい自主基準（排水、大気排出など）を定めて活動しています。



Webで詳しく

環境目的・目標として、地球温暖化対策、環境配慮型商品の開発と普及促進、廃棄物対策、資源の有効利用、環境に配慮したプロセスづくり、有害化学物質の削減、グリーン調達、地域との協調などのテーマを掲げ、具体的な数値目標を設定して活動を進めています。

〈環境に配慮した調達活動の推進〉

環境に配慮した物品の購入（グリーン購入）や、環境に配慮した“モノづくり”（グリーン調達）に努めています。



E-調達分科会(グリーン調達)



グリーン購入委員会

環境監査

● 外部監査

ISO14001認証取得部門では、環境マネジメントシステムが適切に運用されているかに関し、外部の審査登録機関による定期監査(1回/年)を受けています。2007年度の定期監査では重大な指摘事項はありませんでした。



外部監査

● 内部監査

監査チームは、監査を受ける部門に直接関係のない全社から選ばれた中立的な内部監査員で編成し、被監査部門の環境マネジメントシステムへの適合性および活動の内容などを監査します。内部監査員は被監査部門を巡回し詳細に観察するため、取り組み内容の相互理解と課題の共有が可能になります。2007年度の内部監査では重大な指摘事項はありませんでした。また、軽微な指摘・観察事項については速やかに改善しました。



内部監査

● 内部監査員の数の推移

内部監査員は現在48名、うち主任監査員は15名です。

	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
内部監査員	44	44	47	51	48
内部主任監査員	11	13	15	17	15

● 内部主任監査員教育

所定のレベル(監査知識・技能)以上の人を内部主任監査員として認定しています。また、監査技術の向上のために、外部講師による内部主任監査員教育を定期的に行っています。



内部主任監査員教育

● 内部監査員教育

内部監査員は、環境マネジメントシステムを継続的に改善していくうえで重要な役割を担っています。内部監査員のレベルアップを目的に、法律や条例、社内規程類、内部監査の指摘事項と改善措置や環境動向などについて、社内講師による内部監査員教育を定期的の実施しています。



内部監査員教育

● 内部監査員の養成教育

内部監査員の充実に目的に、外部講師による内部監査員養成教育を毎年実施しています。教育終了者は内部監査に随伴し、適切であると認められた者のみを内部監査員として認定しています。



内部監査員の養成教育

国内グループ会社

● 外部監査



能登テック(株)



リンナイ精機(株)

● 環境・安全巡回



能登テック(株)



(株)柳澤製作所

● 内部監査



ジャパンセラミックス(株)



アール・ビー・コントロールズ(株)

● 環境月例会



リンナイ精機(株)



アール・ティ・エンジニアリング(株)

2007年度環境行動計画と結果

2007年度主要取り組み(環境マネジメント、3E:E-プロダクト、E-ファクトリー、E-マインド)の目標と実績、およびその評価結果について報告します。

取り組み項目	2007年度目標	2007年度結果	評価	関連頁
環境マネジメントシステム	本社部門のISO14001認証取得に向けた活動の推進	ISO14001認証取得計画に基づいて活動を実施	○	P29

● E-プロダクト

地球温暖化防止	●省エネ法目標基準値以上の商品の開発(コンデンシング暖房専用機、給湯暖房機、グリル、オープンなど) ●待機時消費電力低減商品の開発(コンデンシング暖房専用機、給湯暖房機、オープン、ファンヒーターなど)	●省エネ法目標基準値以上の商品の開発(コンデンシング暖房専用機、給湯暖房機、ふろ給湯器、グリル、オープンなど) ●待機時消費電力低減商品の開発(給湯器、コンデンシング暖房専用機、給湯暖房機、オープン、ファンヒーター、衣類乾燥機など)	○	P34~P37
大気汚染防止	●低NOx給湯器の開発 ●海外向け低NOx給湯器の開発	●低NOx暖房熱源機を開発 ●海外向け低NOx給湯器を開発	○	P35 P37
省資源・資源循環	●製品アセスメントの継続実施 ●軽量化による省資源(コンデンシング給湯暖房機) ●軽量化による梱包材削減	●製品アセスメントの実施 ●コンデンシング給湯暖房機の軽量化への対応	○	P36 P37
グリーン調達 (有害化学物質の削減と廃止)	●グリーン商品開発(E-調達基準書に準拠した材料の使用の推進) ●グリーン調達管理(化学物質管理)の強化	●E-調達基準書に準拠した材料の使用を推進 ●化学物質管理体制の強化への対応を推進	△	P19 P42

● E-ファクトリー

地球温暖化防止	CO ₂ 総排出量1998年度比101%以下	CO ₂ 排出量2.4%削減(前年比)(1998年度比103%)	△	P38
廃棄物削減	●ゼロエミッションの維持(再資源化率99.5%以上) ●各事業所毎の廃棄物削減計画に従い対策を推進	●ゼロエミッション - 事業所平均再資源化率99.9% ●廃棄物 事業所全体で903トン削減	○	P41
有害化学物質削減	各事業所毎の有害化学物質削減計画に従い対策を推進	事業所全体で16トン削減	○	P42

● E-マインド・その他

グリーン購入	事務用品やOA機器のグリーン購入率95%以上を維持	グリーン購入率95.8%	○	P45
環境情報開示	●2007年度版社会環境報告書の発行 ●ホームページでの環境情報開示	●2007年度版社会環境報告書発行(9月) ●ホームページに環境情報開示(9月)	○	P44
環境教育・啓発	全社および各事業所の2007年度計画に従い、各種教育活動を推進	新入社員教育、階層別教育、内部監査員養成教育／内部監査員教育／内部主任監査員教育などの実施	○	P21 P30 P43

※評価 ○:達成 △:未達成 ×:未実施

2008年度環境行動計画

常に新たな姿勢で、新たな目標に向かって取り組んでいます。

2008年度は、社内各部門およびグループ会社と、さらに一歩進んだ環境活動を展開し、環境マネジメントシステムや環境パフォーマンスの向上を目指します。

(これまでの「3E」活動に、新たに「4E」活動の基本行動計画と目標を加えています。)

取り組み項目	基本行動計画	2008年度目標
環境マネジメントシステム	グループ全体での環境マネジメントシステムを構築し、連携した活動により環境パフォーマンスの向上を図る。	本社部門のISO14001認証取得

● E-プロダクト(商品)

地球温暖化防止	省エネ法目標基準値の早期達成と待機時および使用時の消費電力低減などに取り組み、省エネ・トップランナー商品の開発を継続的に行う。	●省エネ基準以上の商品の継続開発(コンデンス給湯専用機・給湯暖房機など) ●待機時消費電力削減商品の継続開発(給湯器、コンデンス給湯暖房機、炊飯器など)
大気汚染防止	低NOx商品を開発する。	国内・国外向け給湯器の低NOx商品の拡充
省資源・資源循環	商品や部品の小型・軽量化、長寿命化および再生材の利用促進などによる省資源化を図り、資源循環型商品の開発に取り組む。	●軽量化による省資源 ●製品アセスメントの継続実施による省資源化の推進および資源循環の容易性確保

● E-プロキュアメント(調達)

グリーン調達	サプライヤーおよびグループ会社と連携し、環境に配慮した部品(省資源、省エネ、リサイクルなど)の調達を推進する。	●グリーン商品開発(E-調達基準書に準拠した材料の使用の推進) ●グリーン調達管理(化学物質管理)の強化
--------	---	---

● E-ファクトリー(工場)

地球温暖化防止	2010年度までに、CO ₂ 総排出量を10%以上低減する。[1998年度比]	CO ₂ 総排出量1998年度比98%以下
廃棄物削減	ゼロエミッションの維持とともに、2010年度までに廃棄物の総排出量を15%以上削減する。[2002年度比]	●ゼロエミッションの維持・向上(再資源化率99.5%以上) ●各事業所毎の廃棄物削減計画に従い対策を推進
有害化学物質削減	製造工程で使用する化学物質の管理体制の強化と有害化学物質の使用削減/廃止に向けて継続的に取り組む。有害化学物質(PRTR対象物質)を2008年度までに50%以上削減する。[2001年度比]	各事業所毎の有害化学物質削減計画に従い対策を推進

● E-マーケティング(販売)

高効率商品の販売拡大	2010年度までに高効率給湯器25万台を販売する。[CO ₂ 排出量3.5万t-CO ₂ /年削減]	高効率給湯器エコジョーズ販売目標台数15万台[CO ₂ 排出量約2万t-CO ₂ /年削減]
------------	--	--

● E-サービス

環境配慮型商品情報の提供	展示会、カタログ・チラシ・冊子などにより、環境配慮型商品情報を提供する。	●展示会での紹介・啓発 ●カタログ・チラシ・冊子の作成と配布
--------------	--------------------------------------	---

● E-オフィス(職場)

グリーン購入	事務用品やOA機器のグリーン購入率を95%以上とする。	事務用品やOA機器のグリーン購入率95%以上を維持
--------	-----------------------------	---------------------------

● E-マインド(従業員)・その他

環境情報開示	社会環境報告書やホームページを利用して、環境活動や商品の環境情報などを開示する。	●2008年度版社会環境報告書の発行 ●ホームページでの環境情報開示
環境教育・啓発	従業員への環境教育・啓発活動を積極的に行い、環境意識の向上を継続的に図る。	全社および各事業所の2008年度計画に従い、各種教育活動を推進

環境報告Ⅰ

環境会計

環境保全コスト、環境保全効果および経済効果額についての環境会計を報告します。

(1)集計範囲 リンナイ株式会社

(2)集計期間 2007年4月1日～2008年3月31日

(単位：万円)

環境保全コストの分類		主な取り組み	費用
事業 エリア内 コスト	公害防止コスト	大気汚染防止、水質汚濁防止など	5,899
	地球環境保全コスト	省エネルギーなど	2,812
	資源循環コスト	産業廃棄物のリサイクルおよび処理・処分	3,374
上・下流コスト		容器包装などの回収・リサイクルおよび減量・減容化	2,493
管理活動コスト		環境負荷の監視測定など	6,859
研究開発コスト		環境配慮型商品の開発・研究(省エネ、省資源、有害化学物質)	114,473
社会活動コスト		各種社会的取り組み、事業所内および周辺の美化・緑化活動など	142
合 計			136,052

環境保全コスト について

- 研究開発コストは、業界における環境に関する先端技術や先端的商品の開発コストおよび当社従来比で向上をはかった商品(当社基準による)に関するコストを計上しました。
- 環境目的以外も含むコスト(その他の目的を含む)は、当社基準により按分しました。
- 今回の算出において、減価償却費は除外しました。

環境保全効果	項 目		内 容	環境負荷削減量
	事業エリア内効果		省エネによる温室効果ガス削減	476t-CO2／年
	上・下流効果	商品の 使用における 環境負荷低減	低NOx商品によるNOx削減	4.3t／年
			高効率商品によるCO2削減	17,300t-CO2／年

環境保全効果 について

- 省エネルギーや廃棄物削減による環境保全効果は、全体量の増減ではなく、活動による効果量と判断したもののみを計上しました。
- 環境負荷低減商品による環境保全効果は、市場における保全効果ではなく、当社の販売上の保全効果(前年との比較)のみ計上しました。(標準的な使用における年間効果量の推定による)

(単位：万円)

環境保全対策に伴う 経済効果	項 目	経済効果額
	省エネルギーおよび廃棄物削減による費用削減	1,797

経済効果 について

- 省エネルギーや廃棄物削減による経済効果は、全体額の増減ではなく、活動による経済効果と判断した効果額のみを計上しました。
- リスク回避や商品販売効果などのみなし効果は、基準があいまいなため対象外としました。
- 環境負荷低減商品などによる外部経済効果についても、明確な把握が困難であり対象外としました。

E-プロダクト(商品)の取り組み

環境配慮型商品の開発

E-プロダクト(商品)の主な取り組み

1	地球温暖化防止	▶ 省エネ法対応(トップランナー)、待機時消費電力低減
2	有害化学物質の削減・廃止	▶ 国内外法規制への対応、RoHS指令6物質の削減・廃止
3	大気汚染の防止	▶ コンデンス給湯暖房機・ふろ給湯器の低NOx化
4	省資源	▶ 商品の小型・軽量化、梱包材の減量・減容化
5	資源循環	▶ リターナブル梱包、スチロールレス梱包



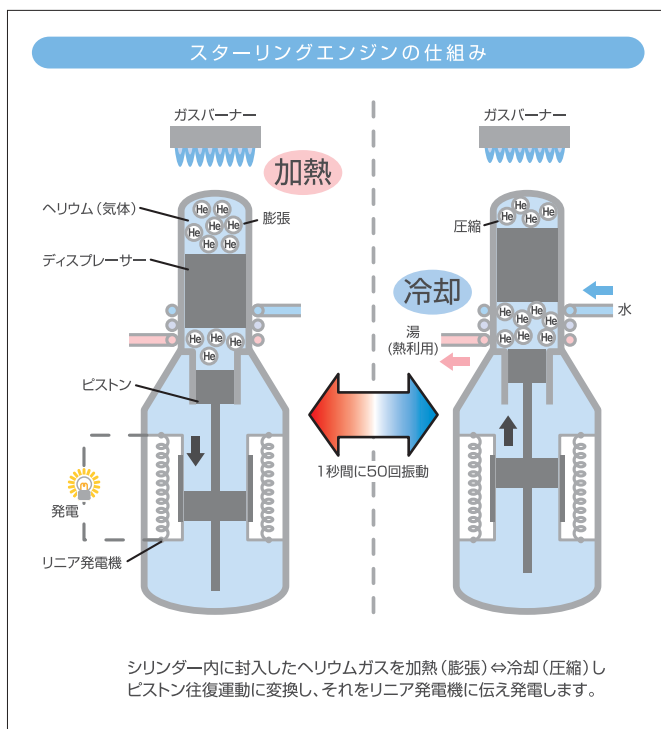
スターリング・エンジン式コージェネレーションシステム(総合熱効率90%以上)

● 商業化に大きな一歩

ドイツのボッシュ社とイタリアのメルローニ社が、当社とエナテック社およびインフィニア社共同開発のエンジンを用いたコージェネレーションシステムの欧州における販売を計画しています。第一段階として2008~2010年に大規模な市場モニターを実施し、2011年から第二段階として、さらに性能およびコスト改善を進めたスターリング・エンジン式コージェネレーションシステムの販売拡大を進めていく予定です。

● スターリング・エンジン式コージェネレーションシステムの特徴

スターリング・エンジン、温水ボイラー、貯湯タンクからなるスターリングエンジン・コージェネレーション・システムは大規模発電システムよりも輸送や送電によるロスがほとんど発生せず、発生した熱が給湯と暖房に使われます。このため、同システムによる発電は大規模化石燃料発電と比べて二酸化炭素の発生を30%以上抑え、発電時総合効率90%以上を実現します。



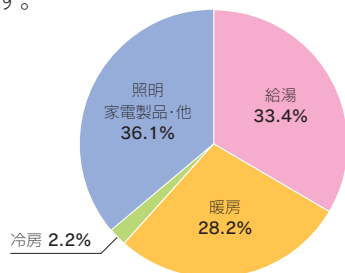
E-プロダクト(商品)の取り組み

環境配慮型商品の開発

地球温暖化防止への取り組み

● 家庭で消費されるエネルギー

家庭で消費されるエネルギー全体の約1/3が給湯関係で消費されています。



※(財)省エネルギーセンター
「省エネルギー便覧2003年度版」より

快適性・利便性を損なうことなくエネルギーの消費を低減する高効率給湯器(コンデンシング給湯器)の普及拡大が、「CO₂排出量削減」に大きく貢献することになります。

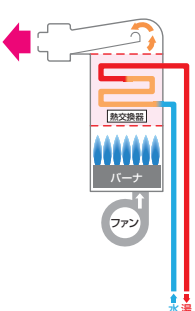
コンデンシング給湯器

● 高効率

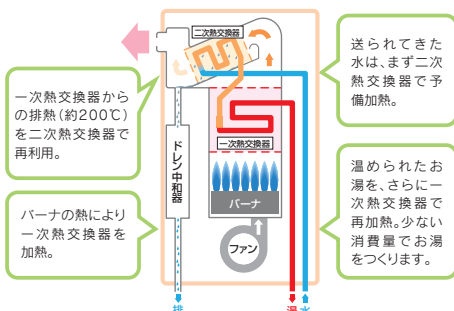
エコジョーズは、お湯を温めるときに出る、今まで利用せずに排気していた高温の燃焼ガスを再利用し、あらかじめ水を温めます。この予熱により、従来タイプに比べて少ないガス消費量で加熱でき、エネルギーをムダにすることなく高い熱効率を実現しています。

● 高効率のしくみ

〈従来型〉
排熱温度約200℃



〈エコジョーズの仕組み〉
排熱温度約50℃



エコジョーズ

- 熱効率 給湯部 95% (従来 82.5%)
暖房部 87% (従来 80.5%)

● 「エコジョーズ」シリーズ商品の拡大

多くのお客様に高効率給湯器「エコジョーズ」をご使用していただけるように、お客様が求められる機能・設置条件などに適合した各種シリーズ商品の開発に努めています。

● 「エコジョーズ」シリーズ商品の機能・種類



1. 給湯専用
2. 給湯 + 追いだし
3. 給湯 + 追いだし + 暖房

給湯専用タイプ



RUX-K2402W

給湯暖房タイプ



浴槽隣接タイプ



RFS-K2801A

設置フリータイプ



RFS-K2801A

ホールインワンタイプ



RUF-HK160A

業務用タイプ



RUXC-K5000MQD

● エネルギー消費効率の向上

省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)のトップランナー方式に基づいたエネルギー消費効率の改善・向上に努めています。

ビルトインコンロ・テーブルコンロ(グリル付き)

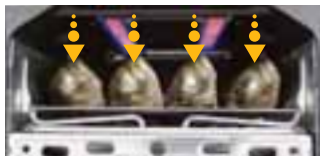
〈グリル部〉

全商品で2008年度基準エネルギー消費効率を達成しています。

〈両面焼き〉



〈片面焼き〉



※この写真は合成写真です。

2008年度グリル部基準エネルギー消費効率

区 分		グリル部 基準エネルギー消費効率
燃焼方式	調理方式	
片面焼き	水あり	$E=25.1Vg+123$
	水なし	$E=25.1Vg+16.4$
両面焼き	水あり	$E=12.5Vg+172$
	水なし	$E=12.5Vg+101$

※ E : グリル部基準エネルギー消費効率 (単位 ワット時)

※ Vg : グリル庫内容積 (単位 リットル)

● 機器の待機時における消費電力の削減

必要なエネルギーを必要な時に効率よく使用するという考え方にに基づき待機時消費電力の削減に努めています。

衣類乾燥機

待機時消費電力の削減(5kgタイプ)

待機時消費電力

3W → 0.1W

2.9W省エネ(当社従来品比)

RDT-51S



ファンヒーター

待機時消費電力の削減

待機時消費電力

2W → 0.8W(60Hz)／0.7W(50Hz)

1.2W(60Hz)／1.3W(50Hz)省エネ(当社従来品比)



RC-E5801E



RC-G4001NP-SV



RC-F4003N

環境負荷低減への取り組み

食器洗い乾燥機



RKW-402L-ST

● 重曹洗浄

環境汚染の心配がなく、人体に優しい「重曹」を洗剤として使用する洗浄モードを新たに搭載し、環境への負荷低減を図っています。洗浄温度・洗浄時間・すすぎ回数などを、重曹での洗浄に最適化し、予洗い・乾燥のみのコースを除く全てのコースで、選択が可能です。

※重曹とは

①炭酸水素ナトリウムまたは重碳酸曹達(NaHCO_3)、別名ベーキングソーダと呼ばれ、海や地中の鉱床、生物の体内にも存在します。

②PH8.3の弱アルカリ性の常温・常圧で安定した天然ミネラルです。

③独特の苦味と臭気がありますが、人体にも自然にも無害な存在です。

④酸性を中和する中和作用、酸と反応して炭酸ガスを発生させる発泡・膨張作用、おだやかな研磨作用、軟水化させるキレート作用、広い消臭・吸湿作用などがあります。

⑤膨らし粉や食材のあく抜きをはじめ、住まい全般のお掃除、美容・健康など多用途にわたり、日本はもちろん、アメリカやヨーロッパで広く利用されています。

⑥グレードがあり、純度の高い順に医薬品用、食用、農工業用に分類されます。本製品には、食用以上のグレードをご使用ください。

※ 専用洗剤洗浄と重曹洗浄のモードは、ボタン一つで簡単に切替えが可能です。

印刷物

商品の取扱説明書、設置工事説明書などの印刷物の環境への負荷低減を図っています。

①紙 : 古紙パルプを配合した再生紙

②インク : 植物性大豆インク(有害化学物質を含有しない)

③印刷 : 水なし方式(有害な廃液が出ない)

などを採用しています。



取扱説明書



設置工事説明書

E-プロダクト(商品)の取り組み

環境配慮型商品の開発

■ [海外] 地球温暖化防止への取り組み

● コンデンス給湯器の開発

オーストラリア向け24号タイプのコンデンス給湯器を開発しました。



熱効率 95.0%



REU-K2430WG-AK

● 太陽熱温水器システム

リンナイオーストラリア(株)では、太陽熱温水器(ソーラーシステム)(太陽光吸収パネル、暖められた湯を貯めるタンク)を生産しています。

ソーラー(太陽光吸収パネル)



給湯器とタンク

■ 家電リサイクル法への取り組み

2001年4月に施行された「特定家庭用機器再商品化法(通称:家電リサイクル法)」に基づき「エアコン」の回収・再資源化を進めています。

● 当社の対象品目と基準値

- ユニット形エアコンディショナー
- 再商品化率の法定基準値:60%

平成19年度実績		平成19年4月1日~平成20年3月31日
指定引取場所での引取台数		2,984台
再商品化等処理台数		2,929台
再商品化処理重量		121.1トン
再商品化重量		108.7トン
再商品化率		89%

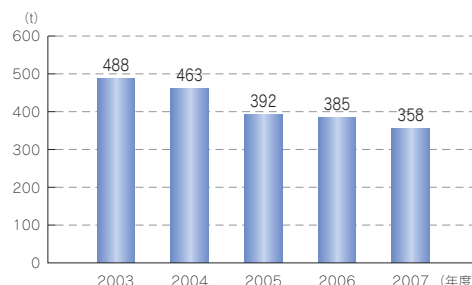


■ 製品梱包への取り組み

● 梱包材による廃棄物発生量の抑制

廃棄時などに問題となる発泡スチロールの使用削減のために、「ダンボール材」のみを使用した梱包の他に、「パルプモールド」を使用した梱包などの採用を展開しています。また、梱包部材の有効利用による減量化・減容化も併せて進めています。さらに、梱包材の再使用を目的としたリターナブル梱包の採用拡大を図っています。

■ 発泡スチロールの使用量推移



● リターナブル梱包

商品を保護する梱包材の再使用を目的としたリターナブル梱包の採用対象機器を拡大しています。商品により大きさ・形状・重量などが異なるため、商品ごとに輸送時に発生する問題を確認し、できるだけ部品点数を減らし、共用化が図れるように工夫しています。

■ 採用事例

ビルトインコンロ

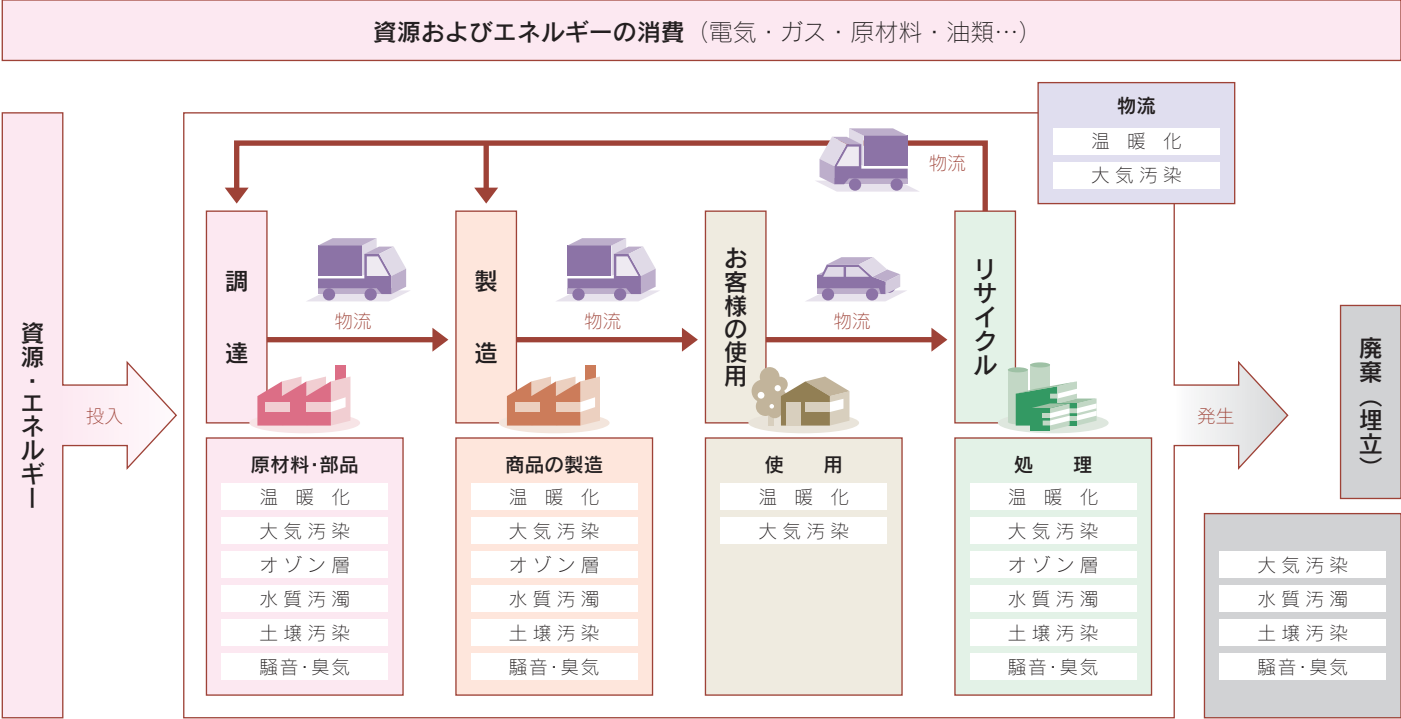


食器洗い乾燥機



E-ファクトリー(工場)の取り組み

モノづくりにおける環境影響



エネルギーの使用量と環境負荷 リンナイ4工場と国内グループ製造会社7社

INPUT インプット	水		エネルギー	
	井戸水	13万m ³	ガス(都市ガス(13A))	357万m ³
	上水	24万m ³	ガス(LPガス)	1,433t
			電力	3,945万kWh
			その他の燃料	971kl(原油換算)

生産工場

資源の有効利用

エネルギーの有効利用

環境リスク物質の削減

OUTPUT アウトプット	水系への排出	大気への排出	廃棄物の排出
	26万m ³	CO ₂ 29,389t-CO ₂ NO _x 24t	15,635t

環境に配慮したモノづくり

環境調和型工場

E-ファクトリー(工場)の主な取り組み

- 1 地球温暖化防止 ----- ▶ 省エネルギー(設備、工程、建物)
- 2 廃棄物の削減 ----- ▶ ゼロエミッション、廃棄物発生量の抑制
- 3 化学物質の削減 ----- ▶ 有害化学物質(PRTR対象化学物質等)の使用削減と廃止
- 4 汚染防止 ----- ▶ 法規制および自主基準の遵守



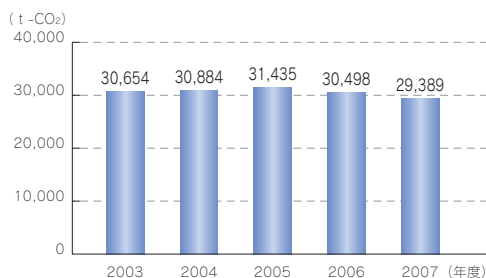
1.地球温暖化防止(省エネ)の取り組み

京都議定書の目標を達成するため、温室効果ガス排出量6%削減に取り組む国民運動として「チーム・マイナス6%」が2005年4月にスタートしました。リンナイグループを挙げてこの運動にいち早く参加し、「クールビズ」や「ウォームビズ」などの取り組みを行っています。また自主的な中長期の温室効果ガス削減目標を設定し、地球温暖化防止活動を積極的に展開しています。

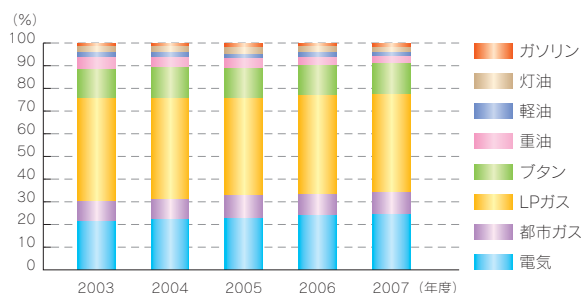


リンナイ4工場と国内グループ製造会社7社

CO₂排出量推移



エネルギー別使用量比率推移(原油換算)



省エネ改善事例

インバーター制御式コンプレッサーへの更新

55kW(1台)と37kW(2台)のコンプレッサーを使用していたが、1台を55kWのインバーター制御式に変更し、2台の55kWのコンプレッサーとしました。これにより効率良い運転が可能となり、電気の使用量を大幅に削減しました。

(旭工場)

電気使用量削減：31,300kWh/年
CO₂排出量削減効果：約11.8t-CO₂/年



インバーター制御式コンプレッサー

ボイラーの設備更新

ボイラーを、同じ能力で熱伝導率の良い省エネ型ボイラーに更新し、都市ガス使用量の削減を図りました。

(瀬戸工場)

都市ガス使用量削減：1,040m³/年
CO₂排出量削減効果：約2.3t-CO₂/年



更新前



更新後

● 太陽光発電装置の設置

自然エネルギーの利用として、太陽光発電装置を設置し電気の使用量削減を図りました。

(瀬戸工場)

稼動：2007年10月20日

出力：10kW

電気の使用量削減効果：7,100kWh/年

CO₂排出量削減効果：約2.7t-CO₂/年



● 水切乾燥炉、焼付乾燥炉断熱材取付け

水切乾燥炉、焼付乾燥炉の天井に断熱材を取付け、保温効果の向上により都市ガスの使用量削減を図りました。

(愛知工場)

都市ガス使用量削減：630m³/年

CO₂排出量削減効果：約1.4t-CO₂/年



改善前



改善後

● 塗装ラインの1本化

種類の多い塗装色の段替え作業ロス対策として、稼動状況を分析し、生産する塗装色順序の最適化などの改善を行い、2本の塗装ラインによる生産から塗装ライン1本の効率良い生産に変更し、電気使用量を削減しました。

(愛知工場)

電気使用量削減：25,000kWh/年

CO₂排出量削減効果：約9.5t-CO₂/年



● 物流改善によるCO₂排出量削減

愛知県小牧市に総合物流センター「プロロジスパーク小牧」を開設し、分散倉庫の集約による輸送車輛の効率化などの物流改善を行い、CO₂排出量の削減を図りました。

トラック便の効率化などによる

CO₂排出削減効果見込み量

約128.3t-CO₂/年



● 物流事業者との連携強化

物流のグリーン化には、荷主と物流事業者との連携が不可欠です。物流業者へのエコドライブの啓発などを継続して進め、CO₂排出量を削減するための一層の連携強化を図ります。

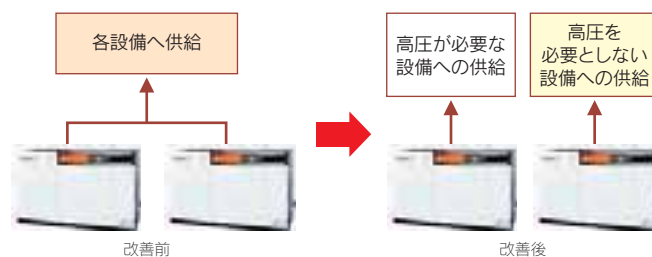
■ 省エネ事例(関連会社)

● コンプレッサーの活用

使用設備の稼動条件に合わせたエアの供給系統に変更し、電気の使用量削減を図りました。(リンナイ精機(株))

電気使用量の削減：309,000kWh/年

CO₂排出量削減効果：約116.8t-CO₂/年



● インバーター制御式コンプレッサーへの更新

コンプレッサーの負荷調査を行い、37kW水冷式コンプレッサー1台を55kWインバータ制御式に更新し、新たにレシーバータンクを設置して、37kWの空冷式コンプレッサー1台を停止させ、2台から1台稼動にして、電力の使用量削減を図りました。

(リンナイテクニカ(株))

電気使用量の削減：4,750kWh/年

CO₂排出量削減効果：約1.8t-CO₂/年



レシーバータンク

● 洗浄機の給水量削減

加工部品洗浄の給水方法とプログラムを見直し、洗浄機の給水量の削減を図りました。

(リンナイ精機(株))

水使用量削減 2,500m³/年



洗浄機

● 宣伝用ネオン

消灯時間の見直しを行い、夜0時の消灯から夜10時の消灯に変更し、点灯時間を短縮しました。(アール・ビー・コントロールズ(株))

電気の使用量削減：750kWh/年

CO₂排出量削減効果：約0.3t-CO₂/年



環境に配慮したモノづくり

環境調和型工場

2. 廃棄物への取り組み

● 廃棄物ゼロエミッションの定義

2007年度よりゼロエミッションの定義を見直し従来より厳しい基準としました。(再資源化率 99%→99.5%)

● 定義

再資源化率 99.5%以上

最終直接埋立委託率 0.5%未満

$$\text{再資源化率 (\%)} = \frac{\text{再資源化量}}{\text{廃棄物発生量}} \times 100$$

※廃棄物 ①埋立処分品 ②中間処理品 ③再資源化品

● ゼロエミッション

ゼロエミッションの維持と廃棄物発生量の削減に取り組んでいます。2007年度の廃棄物発生量は前年比91.6%となりました。今後も、継続してゼロエミッションの維持と廃棄物の発生抑制への取り組みを推進します。

廃棄物の発生抑制活動

廃棄物を減らす活動

- ごみを買わない活動
- 廃棄物を出さない活動
- 購入先に戻す活動
- 再使用する活動
- 再資源化する活動

経済的に処理する活動

- 減容化
- 処理費用の単価低減
- 廃棄物の有価物化
- 有価物の価値を上げる

● 分別の徹底



分別サンプルの表示



分別状況の確認・指導

● 台車などの解体品の鋼材再利用

廃棄物の削減をはかるため、台車などに使用していた鋼材などを分別回収し、再利用しています。(瀬戸工場)

鋼材などの再利用量 669Kg/年



(鋼材の再利用)



(キャスターの再利用)

● 廃棄物の適正管理・適正処理

従業員への廃棄物の適正処理に関する教育を実施するとともに、処理を委託する中間処理業者や最終処分業者に対して、原則年1回以上、廃棄物の保管状況や処理状況の監査を実施しています。2007年度は49社に対して監査を実施し、適正な処理・処分がされていることを確認しました。

処理業者巡回 49社
参加人員 延べ 98人



廃棄物処理業者への巡回・現地調査

国内グループ会社の廃棄物への取り組み

● 排水の垂鉛濃度低減と汚泥の削減

排水処理装置に有機凝結剤用ポンプを新設し、無機凝結剤から有機凝結剤に変更するなど処理システムの改善を行い、排水の垂鉛濃度の低減とともに、汚泥の削減を図りました。((株)柳澤製作所)

排水の垂鉛濃度

改善前 4mg/L → 改善後 1mg/L以下
汚泥の削減量 63t/年



有機凝結剤用ポンプ

● 水溶性廃液の削減

金型に送る冷却水の配管やホースの破損・外れなどによる冷却水の水溶性廃液への混入量を削減するため、ホースに抜け防止バンドを取り付け、流出量が一定量を超えた場合は、警報が出て迅速な対応が出来るように改善を行い、流出量の削減を図りました。(リンナイ精機(株))

水溶性廃液の削減 420トン/年



抜け防止バンド



警報装置

● 産業廃棄物処理場巡回

適正処理・処分のために、産業廃棄物の処理を委託している中間処理業者、および最終処分業者への廃棄物の保管状況や処理状況の監査を行っています。



アール・ティ・エンジニアリング(株)



リンナイテクニカ(株)

3.化学物質への取り組み

法規制に対応する化学物質の適正管理はもとより、自主的な取り組みとして、特に有害性が高いと判断される化学物質に対して目標を定めて削減や廃止活動を進めています。

● 製品含有化学物質の削減／廃止

製品に含有される化学物質に対して年々規制が強化されていますが、特にEUのRoHS指令に代表される化学物質規制に対応するため、有害化学物質の削減や廃止に取り組んでいます。サプライヤーに対して説明会や化学物質含有調査を行い、特定の有害物質については分析調査も実施して、代替や削減に努めています。



蛍光X線分析装置

● 化学物質管理ランク指針の定義

ランク	定 義
使用禁止	製品への含有を禁止する物質。
	レベル1 即時に使用を中止しなければならないもの。
	レベル2 指定した期日までに使用廃止しなければならないもの。
	レベル3 法規制の対象外(適用除外品)のものや技術的困難さ等があり容易に代替できない場合もあるが、可能な限り使用廃止に努めるもの。
使用削減	自主的に目標を設定し、使用の削減及び廃止に努めるべき物質。
使用管理	使用を制限するものではなく、使用実態を把握し含有量等についてデータ把握すべき物質。

● 化学物質の排出量削減

工場から排出される化学物質について、特にPRTR(特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律)で指定される有害化学物質の排出低減に取り組んでいます。トルエンやキシレンなどのVOCを主体に、中長期目標を設定して削減活動を進めています。

CCM(コンピューター・カラー・マッチング)化によるトルエン・キシレン使用量削減

工場内でのCCM化による色調含有を増やし、トルエン・キシレンの含有量の少ない塗料原料への変更を促進しています。(瀬戸工場)



● PCBの保管

絶縁油などに使用されたPCBは、「ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物の適正な処理に関する特別措置法」により、保管の管理強化と2016年7月までに処理することが義務付けられています。2005年9月から移動したPCB廃棄物処理施設(日本環境安全事業(株)豊田事業所)へ処理予約を行っており、処理が完了するまで保管中の紛失等を防止するための施錠や銘板管理など、万一の機器破損に備えた漏洩防止対策を行っています。

4.汚染防止への取り組み

● 環境巡回

環境内部監査員資格を持つメンバーが主体となり、各工場の廃棄物や危険物及び設備の管理状況等の確認を定期的に行っています。改善を要する場合には指導や支援を行い各工場の環境保全活動の標準化や活性化に努めています。

● 緊急事態への対応訓練

想定される緊急事態への対応手順を整備し、手順の有効性確認のための対応訓練を計画的に実施しています。



緊急時対応訓練



国内グループ会社



緊急時対応訓練
アール・ビー・コントロールズ(株)



緊急時対応訓練 リンナイ精機(株)

法規制遵守の状況

● 自主基準による管理

法規制の遵守はもとより、さらに高い自主基準値を設定し、大気や水系などへの有害な化学物質等の排出を削減しています。設備の維持管理の強化とともに、自主基準値を超える可能性が判明した場合には、設備対策等を速やかに実施することで、自主基準値を超えることがないよう管理の徹底を図っています。

● 法規制遵守結果

2007年度は、公害防止関連法など環境に係る法令違反はありませんでした。

主な関連法	
大気汚染	大気汚染防止法
水質汚濁	水質汚濁防止法、下水道法
地盤沈下	工業用水法
騒音・悪臭	騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法
危険有害性物質	毒物及び劇物取締法
従業員の安全	労働安全衛生法(特化則、有機則) 消防法(危険物関係)
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
生態系	PRTR法、PCB廃棄物特別措置法

E-マインド(従業員)の取り組み

E-マインド(従業員)の主な取り組み

- | | | |
|---|--------------------|-----------------------|
| 1 | 環境教育・啓発活動 | ▶ 社内外環境教育、環境月間、環境社内報 |
| 2 | 環境コミュニケーション、環境情報開示 | ▶ 工場見学、社会環境報告書 |
| 3 | 地域との協調活動 | ▶ 地域清掃・美化活動 |
| 4 | グリーン購入 | ▶ グリーン商品(事務用品など)の購入促進 |



1.環境教育・啓発活動

● 教育

環境活動の最も大きな推進力となるのは、従業員の環境意識です。新入社員教育や階層別教育には必ず環境に関わるテーマを取り入れ、啓発活動に努めています。



新入社員教育



各事業所での環境教育



外部講師による講演会
アール・ピー・コントロールズ(株)

● TPM活動(全員参加の生産保全)

作業の熟練にとどまらず、作業のやり方や工程の改善を進める能力、製造に関わる専門技能を修得し、環境との関わりを把握してムダの排除に努めています。



現場改善



改善事例発表会 (株)柳澤製作所

● 環境社内報の発行

従業員に対して、社内の環境取り組みや国内外の環境動向などを、社内報として提供しています。従業員相互のコミュニケーションを図るとともに、環境意識の向上を目的としています。



● 環境方針カード

日々環境保全を意識して行動するよう、環境方針を抜粋した「環境カード」を従業員に配布しています。裏面に各自が「私の環境チャレンジ宣言」を記入し、各々の取り組みを明確にしています。



● アイドリングストップ運動

社有車や通勤用車両等の駐車場を利用する車両を対象に、「アイドリングストップ運動」を実施しています。



アール・ピー・コントロールズ(株)

2.環境コミュニケーション、環境情報開示

● 報告書の発行

2000年に「環境報告書」を発行して以来、今回で9回目の発行になります。

2006年には社会性報告を充実させ「環境報告書」を「環境社会報告書」に改めました。さらに2007年には「社会環境報告書」として、より一層社会面の充実を図りました。



● ホームページでの環境情報の公開

当社のホームページでは、企業情報に加えて、環境活動に関する情報も発信しています。



● 工場見学

各事業所では、近隣の学校(小学校など)の教育の一環として、工場見学などに協力しています。



工場見学(地元小学生)

● 職場体験学習

2～3日間の研修プログラムで、環境に配慮した「モノづくり」の大切さや面白さを体験する中学生の「職場体験学習」に協力しています。



職場体験学習(地元中学生)

● 国内展示会への出展

■ メッセなごや2007出展

2007年9月、名古屋港金城心頭で「愛・地球博」の理念を引き継ぐことを目的として開催された「メッセなごや2007」に出展しました。テーマは「安心・安全・快適」で、安全で快適に使用できる環境に配慮したガス機器を展示しました。



リンナイブースを見学する
イタリアのトリノ市長

海外グループ会社

● エキスポMCE〈イタリア〉

2008年3月、イタリアのミラノで開催された暖房・給湯・サニタリー・冷房などに関連した展示会「エキスポMCE」に出展し、高効率給湯器などの製品を展示しました。(リンナイイタリア(株))



● Aqua-Therm 08〈ロシア〉

2008年3月ロシアのモスクワで開催された温水と暖房に関連した展示会「Aqua-therm2008」に出展し、コンデンシングボイラー・ガス暖房機・厨房機器などの多様な製品を展示しました。(リンナイロシア(株))



● 国際建築機器・資材見本市〈アメリカ〉

2008年2月、アメリカのフロリダ州オーランドで開催されたアメリカ最大の「国際建築機器・資材見本市」に出展し、高効率給湯器・FF暖房機などの製品を展示し、大きな注目を集めました。(リンナイアメリカ(株))



● 国際環境エネルギー産業展示会〈韓国〉

環境やエネルギーに関する展示会「国際環境エネルギー産業展示会」に高効率コンデンシングボイラーなどを展示し大きな注目を集めました。(リンナイ韓国(株))



■ フロンティア21 エレクトロニクスショー出展

2007年10月、名古屋市吹上ホールで開催された「フロンティア21エレクトロニクスショー」に出展し、「安全・安心・環境」をテーマにガス機器と搭載している電子ユニットを展示しました。



E-マインド(従業員)の取り組み

3.地域との協調活動

● 巡回バスの利用

大口工場(技術センター)では地元の大口町と協議し、2008年3月より工場前にバス停を設置しました。CO₂排出量削減と地域貢献および経費削減を目的に、17:30以降は最寄の駅(布袋駅)へはタクシーの利用を減らし、大口町の巡回バスを利用することにしています。



● 美化・緑化活動

各工場では「花いっぱい運動」や「緑化運動」などを推進しています。大口工場前の道路(国道155線)沿いに花壇をつくり、季節の花を植えるなどの美化活動を行っています。



● アダプトプログラム(里親制度)

大口工場・技術センターは、大口町のアダプトプログラム(里親)に参加し、公園や道路の清掃を定期的に行っています。



掲示板



堀尾跡公園の清掃



155号線の清掃と回収したゴミ



● 消防出初式への参加

毎年1月に、瀬戸市消防出初式が開催されています。自衛消防協議会に加盟し活動している瀬戸工場の自衛消防メンバーは、消防活動に対する認識を新たにするため、出初式に参加しています。



● 通勤路の清掃

地域の清掃活動として、定期的に通勤路の清掃活動を行っています。



愛知工場



旭工場

● 事業所周辺の清掃

各事業所では、定期的に事業所周辺の清掃活動を行っています。



本社



瀬戸工場

国内外グループ会社

● 事業所周辺の清掃



リンナイ精機(株)



台湾林内工業股份有限公司

● 通勤路の清掃



アール・ティ・エンジニアリング(株)



(株)柳澤製作所

4.グリーン購入

環境に配慮した事務用品やOA機器などの購入を促進するために、グリーン購入活動を行っています。グリーン購入委員会で、目標の設定や年度実績の確認及び対策の協議を行い、グリーン購入率の向上と対象品目の拡大などに努めています。

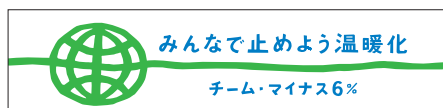
※グリーン調達とグリーン購入:生産に直結した購入を「グリーン調達」、オフィス関連の用品・機器の購入を「グリーン購入」として区別しています。

環境活動のあゆみ

1993年	3月	■ 「環境保全行動プラン」策定、環境委員会発足
	12月	■ 第4回省エネバンガード21受賞(プラスト式強熱グリラーRGM-4・6・8)
1994年	7月	■ 低NOxバーナー搭載給湯器発売(NOx60ppm以下)
1996年	3月	■ 第1回エコデザイン賞／東京ガス・大阪ガス・東邦ガス主催 優秀賞(給湯器、ファンヒーター、小型湯沸器)
1997年	3月	■ 第2回エコデザイン賞 特別賞(テーブルコンロ)
	6月	■ 吸収式ガスエアコン(ノンフロン)発売
	10月	■ ISO14001大口サイト認証取得(大口工場・生産技術部・開発本部)
	12月	■ 第8回省エネバンガード21受賞(テーブルレンジRSBN-096)
1998年	4月	■ 第3回エコデザイン賞 優秀賞(ガス衣類乾燥機) 特別賞(小型湯沸器、吸収式ガスエアコン)
	9月	■ 空気清浄機付きファンヒーター発売(本格空清・・・集じん・脱臭機能)
	10月	■ ユツコVシリーズ発売(梱包スチロール廃止・待機時消費電力削減・低NOx)
1999年	4月	■ 大口工場(改正省エネ法適用工場) 第2種エネルギー管理指定工場登録
	7月	■ 環境部設置
	9月	■ エコマックスバーナー・エコバーナー搭載コンロ発売
	10月	■ コンデンス給湯器発売(熱効率95%・NOx30ppm以下)
2000年	2月	■ 第10回省エネ大賞 通商産業大臣賞受賞(コンデンス給湯器)
	5月	■ リンナイ環境行動指針策定
	8月	■ 環境報告書初版発行
	12月	■ ISO14001瀬戸工場・環境部認証取得
2001年	1月	■ 中日産業技術賞 中日新聞社賞受賞(コンデンス給湯器)
	6月	■ 技術大賞受賞／(社)日本ガス協会主催(コンデンス給湯器)
2002年	2月	■ 愛知工場・旭工場2003年度ISO14001認証取得に向けて環境マネジメントシステム運用開始
2003年	6月	■ 技術賞受賞／(社)日本ガス協会(ガラストップガスコンロの開発)
	10月	■ グッドパッケージ賞 電気・機器包装部門賞受賞 2003日本パッケージングコンテスト(75cm幅ガラストップビルトインコンロ)
	11月	■ ISO14001愛知工場・旭工場・品質保証部認証取得
2004年	10月	■ ロジスティクス賞受賞 2004日本パッケージングコンテスト(浴室暖房乾燥機)
2005年	6月	■ 技術大賞受賞／(社)日本ガス協会(潜熱回収型高効率給湯暖房機の開発)
	9月	■ 地球温暖化防止国民運動「チーム・マイナス6%」に参加
2006年	10月	■ 電気・機器包装部門賞受賞 2006日本パッケージングコンテスト(ガスファンヒーター)
2007年	7月	■ リンナイ本社2008年度ISO14001認証取得活動開始

リンナイは21世紀に飛躍する環境調和企業をめざします。

リンナイ 株式会社



リンナイとグループ会社は「チーム・マイナス6%」に参加しています。



VOCとは揮発性有機化合物であり、石油系溶剤に替わり大豆油やアマニ油等の植物油のみで製造されたインキはVOCを含有しません。また、従来の石油系溶剤から製造されたインキよりも生分解性に優れます。



この報告書は、有害な廃液が出ない「水なし方式」で印刷しています。

2008.09